

相関の欠如は、酸化ストレスとして作用する Benzo[a]pyrene の代謝における、より上流の代謝酵素である CYP1A1 などの寄与の方が大きいものと推測される。

9) 重症化予防に向けた新規環境フィルター開発 (中村ら)

- DEPとその成分の芳香族炭化水素 (PAHs) の *in vitro* 評価系研究と喘息モデルにおける気道過敏性亢進 (*in vivo*) 研究

A549細胞へのPAHsの添加によって放出されたIL-8濃度について、フルオランテン、ナフタレン、ベンゾ (a) アントラセン、p-ニトロフェノールがIL-8の放出に対し量一反応関係が認められた。またモデルマウス実験により、フルオランテン、ナフタレン、ベンゾ (a) アントラセン、p-ニトロフェノールが、DEPに類似の気道過敏性亢進を誘導した。

- 新規開発aFeフィルター除去能の評価

DEPのPHAs成分のうち、フルオランテン、ナフタレンは、既存のフィルターで除去が可能であったが、ベンゾ (a) アントラセンに対しては本非晶質鉄フィルターが効果的であり、p-ニトロフェノールに対しては活性炭フィルターが効果的であった。また非晶質鉄フィルターと活性炭フィルターを組み合わせ構成されている本フィルターaFeはベンゾaピレン、ベンゾaアントラセンに対して既存のフィルターに比べて効率よく吸着することが認められた。一方、ナフタレン、フルオレンにおいてaFeは既存フィルターに比べて差が認められなかった。

非晶質鉄フィルターと活性炭フィルターを組み合わせ構成されている本フィルターはPAHsによるアレルギー反応を抑制できることから、喘息重症化の予防に有効であることが示唆された (図9-1)。

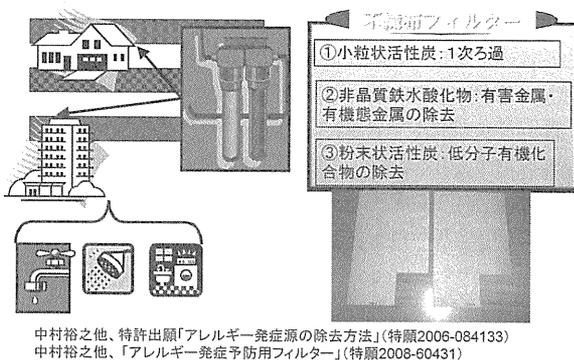


図9-1. アレルギー重症化予防フィルターの開発

- 吸着メカニズムの解析

ベンゾaピレン赤の電子雲の最高占有軌道(HOMO)の三角形の一辺の長さ約5ÅとaFeの結晶間隔の水素原子(白)間の距離が約5.9Åとの間でπ結合による核型吸着反応が起きるため、ベンゾaピレン、ベンゾaアントラセンという約5Å程度の分子量の多い有機物の吸着に効果があることがわかった。一方、分子量の少ないナフタレン、フルオレン、フェラントレン、p-ニ

トロフェノールなどは、三角形の一辺の長さが4 Åと短いため、吸着性は弱いという吸着メカニズムが解明された。この理論はPAHs溶液の除去率結果とも一致し、活性炭の低分子の有機ガスを吸着するファンデアワールスとは異なる挙動であるといえた (図9-2)。

フロンティア理論によるPAHs吸着

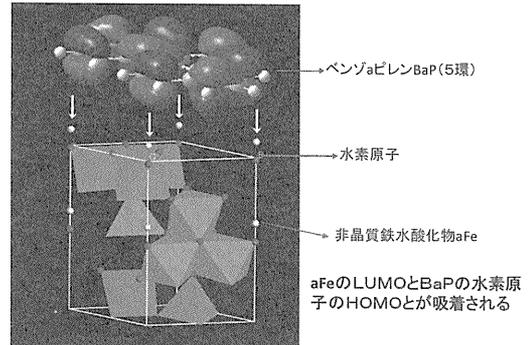


図9-2. 非晶質鉄水酸化物aFeの吸着メカニズムの解析

Ferrihydriteはナノ粒子からなり比表面積が200m²/g前後と高く、プラスチックの重金属などの吸着材として広く使用されている。有機化合物の官能基などと配位結合して凝集体を形成して補足固定・分解除去できることも示されている (特開2004-349519)。消臭、抗菌、防カビなどは、空気中の酸化物質からラジカル (不対電子) を生成して吸着した物質を分解する機能が有り、この活性作用は永久的なものであることも知られている (www.tokyo-zoen.co.jp)。このようにFerrihydriteは一般的に重金属の吸着性に優れているが、我々の研究では、このような吸着メカニズムが解明されたことから、PAHsなどの有機物に対しても吸着性があると考えられた

E. 結論

わが国の重症喘息を特徴付ける 1. ステロイド抵抗性、2. 非アトピー型 (非 IgE 依存性、T 細胞依存性) 喘息、3. リモデリングの 3 大要因を解析した結果、1) 難治性喘息の特徴である T 細胞レベルのステロイド抵抗性は、T 細胞の存在する微小環境 (microenvironment) 中の costimulatory signal (補助刺激シグナル) およびサイトカインシグナルによって誘導されること、costimulatory signal 阻害、シグナル伝達制御によりステロイド感受性が回復可能であることが、*in vitro*、*in vivo* の両レベルで明らかになった。本知見を前臨床データとして臨床試験入りをめざす。加えて、2) 重症喘息の大部分を占める非アトピー型喘息の気流閉塞を担う、T 細胞由来の新たなメディエータを同定した。また、3) 好酸球は細菌感染を介し活性化され、重症化に関与するが、PAF 受容体阻害薬がこのプロセスを抑制すること、4) 好酸球は上皮間葉移行 (EMT) を介して気道リモデリングを引き起こす可能性があり、好酸球の制御が気道リモデリングの予防につながること、5) ウィルス感染は

実験喘息病態を重症化し、CD8 陽性 T 細胞、LTB₄、IL-13 が重要であること、6) 気管支平滑筋細胞は MMP-2 等のプロテアーゼを分泌し、リモデリング形成に寄与すること、7) 気道平滑筋細胞が肺線維芽細胞より放出されたフィブロネクチンに反応し、遊走すること、8) 気道平滑筋細胞より放出される遊走因子に反応して気道上皮細胞が遊走すること、9) 喘息死の肺病変部には IL-18 陽性、IL-18 受容体陽性 CD8 T 細胞が著増し、治療ターゲットと考えられること、10) 好塩基球を介する、IgE 依存性及び IgE 非依存性 (レプチン、AGE) の新たなアレルギー性炎症増悪メカニズムがあること、11) PSL 5 mg/day 以上を要する Step 4b 群では、呼気濃縮液中マーカーなど様々な臨床指標が重症度と関連し、治療反応性あるいは病態の違いにより、ECP 高値・IL-8 低値群と ECP 低値・IL-8 高値群といった異なるフェノタイプが存在すること、12) 好塩基球が HLA-DR、CD80 を発現し、抗原提示細胞として気管支喘息の病態に関与すること、13) NQO1 とアルギナーゼ 2 の遺伝子多型が、重症喘息と関連すること、14) GSTM1、アルギナーゼ 1、Nrf2 遺伝子多型と喫煙 (抗酸化ストレス応答) との相互作用によって喘息重症化が引きこされること、15) 非晶質鉄フィルターと活性炭フィルターを組み合わせて構成されている新規フィルターは PAHs によるアレルギー反応を抑制できることから、従来のフィルターと違って喘息の重症化の予防に有効であること、16) その物理的機序として、Ferrihydrite の吸着の特性に基づくこと、が明らかになった。これらの新規の知見は、世界に先駆けて喘息の難治化、重症化を早期診断、予知、予防、治療する目的に、きわめて価値が高いと考えられる。

F. 健康危機情報

該当なし

G. 研究発表 (各総合研究報告書参照)

1) 国内

口頭発表	118 件
原著論文による発表	0 件
それ以外 (レビュー等) の発表	80 件
その内主なもの	

論文発表

- 森 晶夫: 喘息の病態の分子学的研究 update、Progress in Medicine;29(1):41-44, 2009
- 森 晶夫: 最近の喘息研究の動向—非アトピー機序へのフォーカス、アレルギー・免疫;16(2):7-8, 2009
- 森 晶夫: 喘息と CD8⁺細胞 (CTL)、Annual Review 呼吸器 2009 (工藤翔二、土屋了介、金沢実、大田健編)、中外医学社、東京 p. 84-90, 2009
- 森 晶夫: 難治性喘息の疫学 (日本と世界)、第 28 回六甲カンファレンス 難治性喘息をめぐって (森川昭廣、足立満、秋山一男、大田健、東田有智編)、ライフサイエンス出版、東京 p. 15-26,

2009

- 森 晶夫: 現在の喘息治療状況の中での難治性喘息の疫学、病態と診断、治療法は?、EBM アレルギー疾患の治療 2010-2011 (秋山一男、池澤善郎、岩田力、岡本美孝編)、中外医学社、東京 p. 10-17, 2009
- 森 晶夫: 真菌アレルギー—最近の話題—自然免疫、獲得免疫と真菌、アレルギーの臨床;30(1):30-32, 2010
- 森 晶夫: 重症喘息の機序とその対策、臨床免疫・アレルギー科;53(2):167-173, 2010
- 森 晶夫: 国際アレルギー学会(WAO)2009 報告、日本アレルギー協会関東支部だより;7:3-5, 2010
- 森 晶夫: 炎症性メディエータとアレルギー疾患、Topics in Atopy;9(2):37-43, 2010
- 福富友馬、谷口正実、東 典孝、石井豊太、龍野清香、谷本英則、押方智也子、小野恵美子、関谷潔史、粒来崇博、釣木澤尚美、中澤卓也、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山一男: 成人喘息患者における持続的気流閉塞—臨床的見地から—、第 11 回喘息リモデリング研究会、呼吸;29(5):535-537, 2010
- 神沼 修、加藤茂樹、森 晶夫: T 細胞の遊走と CD44、臨床免疫・アレルギー科;53(6):551-555, 2010
- 森 晶夫、北村紀子、安部暁美、山口美也子、谷本英則、関谷潔史、押方智也子、福富友馬、大友守、前田裕二、谷口正実、長谷川真紀、秋山一男、大友隆之、神沼 修: わが国の重症難治性喘息の病態と治療、第 50 回日本呼吸器学会学術講演会ハイライト:2-4, 2010
- 森 晶夫: 難治性喘息の今日的な定義および診断・治療の課題を検討する、~抗体治療時代の~気管支喘息治療の新たなストラテジー (大田 健編)、先端医学社、東京 p. 22-29, 2010
- 森 晶夫: 非アトピー型喘息、The 17th Symposium of Asthma in Tokyo、ライフサイエンス出版、東京 p. 62-68, 2010
- 森 晶夫: コーヒーとぜんそく、コーヒーの医学 (野田 光彦編)、日本評論社、東京 p. 199-201, 2010
- 森 晶夫: アレルギー性疾患関連の分子を標的とした治療、総合アレルギー学 (福田 健編)、南山堂、東京 p. 690-695, 2010
- 森 晶夫: 高 IgE 症候群、呼吸;30(2):151-153, 2011
- 森 晶夫: 国際アレルギー学会(WAO)国際科学会議報告、日本アレルギー協会関東支部だより;9:4-7, 2011
- 森 晶夫: アレルギーをめぐるトレンド抗 IgE 抗体療法、皮膚アレルギーフロンティア;9(2):126-129, 2011
- 森 晶夫: アレルギー病因論の新しい展開と重症アレルギーを特徴付けるステロイド抵抗性につ

- いて、日本アレルギー協会アレルギー研修会 主題:アレルギー診療 Update〜病態に基づいた合理的な治療〜 p. 1-10, 2011
21. 森 晶夫:重症喘息の病態と真菌抗原による非IgE 依存性喘息反応、臨床免疫・アレルギー科;56(1):44-50, 2011
 22. 森 晶夫:アトピー型喘息と非アトピー型喘息の病態機序、第30回六甲カンファレンス 2010年における気管支喘息のすべて(森川昭廣、足立満、秋山一男、大田健、東田有智編)、ライフサイエンス出版、東京 p. 33-40, 2011
 23. 谷本 安、高橋 清:診断と治療の進歩、喘息の亜型・特殊型、4 重症難治性喘息、日内会誌 98: 3103-13, 2009.
 24. 谷本 安、高橋 清:14 急性増悪(発作)への対応 C. 急性増悪時の家庭での対応 福田 健編:よくわかる気管支喘息-その診療を極める-永井書店、大阪、233-5, 2009.
 25. 谷本 安、高橋 清:好塩基球・好酸球機能検査図説・臨床看護医学 デジタル版 09:免疫・アレルギー pp. 1-3, エディターシップ、東京、2010.
 26. 能島大輔、谷本 安:特集 アレルギーと炎症細胞 アレルギー性炎症における好塩基球の役割. 臨床免疫・アレルギー科 53: 486-90, 2010.
 27. 谷本 安:特集 One airway, one disease One airway, one diseaseの治療戦略-アレルギー免疫療法-. 喘息 23: 50-5, 2010.
 28. 谷本 安、能島大輔:アレルギー性炎症における好塩基球のあらたな役割. -好塩基球は免疫・アレルギー反応を調節する細胞である-. 医学のあゆみ 233: 61-5, 2010.
 29. 谷本 安:One airway, one disease (喘息・鼻炎合併患者)の包括的治療 総編集:山口 徹、北原光夫、福井次矢. 今日の治療指針 2011年版 私はこちら治療している pp. 705-6, 医学書院、東京、2011.
 30. 谷本 安、谷本光音:特集 難病への取り組み 希少呼吸器疾患の治療・管理. 岡山医誌 123: 49-52, 2011.
 31. 相澤久道、関塚友美、石井秀宣:治療 主要疾患の予防・治療・管理 喘息. 日本臨牀. 2009;67(11):2115-2119.
 32. 相澤久道:ミニシンポジウム「最新のガイドラインをめぐって」I. ACP (American College of Physicians) ガイドライン. 呼吸. 2009;28(10):1022-1023.
 33. 大森久光、岩崎 榮、福地義之助、工藤翔二、山門 實、相澤久道:日本人間ドック学会会員施設における呼吸機能検査に関する実態調査. 人間ドック 2009;23(5):44-49.
 34. 相澤久道:最新の COPD 治療-大規模臨床試験の結果から サルメテロール/フルチカゾン配合剤の大規模臨床試験-TORCH 試験などの結果. 医学のあゆみ 2009;231(4):277-281.
 35. 相澤久道、御鍵麻記子、時任高章:COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第2版. 成人病と生活習慣病 2009;39(6):667-670.
 36. 相澤久道、名取宏記、御鍵麻記子:呼吸機能検査ガイドライン 活用法. 呼吸器科 2009;15(3):255-260.
 37. 相澤久道:Q&A 高齢者喘息の鑑別のポイント. 日本医事新報 2009;4429:94-95.
 38. 相澤久道、末友仁、武岡宏明、松岡昌信:吸入ステロイド/ β_2 刺激薬合剤の意義と使いかた. Medical Practice 2009;26(3):461-463.
 39. 相澤久道:呼吸の生理 ⑩臨床的な肺機能検査の応用. 呼吸 2009;28(2):144-150.
 40. 相澤久道:COPD の免学と病態. 臨床画像 2009;25(2):6-12.
 41. 相澤久道:安定期の喘息と COPD の類似点と相違点. 呼吸と循環 2009;57(2):135-140.
 42. 相澤久道:ガス交換の仕組みから見た呼吸の機能. 呼吸器疾患診察マニュアル 2009;137(2):30-31.
 43. 相澤久道:呼吸機能の年齢変化と疾患による異常. 呼吸器疾患診察マニュアル 2009;137(2):34-35.
 44. 相澤久道:呼吸器系への喫煙の影響. 呼吸器疾患診察マニュアル 2009;137(2):36-37.
 45. 相澤久道:「肺年齢」スクリーニングの役割. 呼吸器疾患診察マニュアル 2009;137(2):134.
 46. 相澤久道:COPD(肺気腫、慢性気管支炎). 呼吸器疾患診察マニュアル 2009;137(2):218-222.
 47. 相澤久道、中村雅之、福島徳子:考慮すべきさまざまな側面. 呼吸器内科 2010;18(5):437-442.
 48. 相澤久道、松本恵太、佐々木潤:高齢者喘息と COPD: 実地臨床でのとらえ方. 呼吸器内科 2010;18(3):279-281.
 49. 相澤久道:気管支喘息の外来診療. 呼吸器内科 2010;18:101-106.
 50. 相澤久道:注目の新薬 シムビコート(ブデソニド・ホルモテロール配合剤). 診断と治療 2010;98(9):1533-1537.
 51. 相澤久道、澤田昌典、園部伸恵:日常診療における COPD 患者の状態評価-COPD アセスメントテスト(CAT)日本語版の利用-. International Review of Asthma & COPD 2010;12:39-46.
 52. 相澤久道:COPD 急性増悪と喘息急性増悪との違い. アレルギーの臨床 2010;30:44-49.
 53. 相澤久道、澤田昌典、園部伸恵:COPD アセスメントテスト(CAT)日本語版. 吸入療法 2010;2:18-23.
 54. 相澤久道、澤田昌典、園部伸恵:COPD の重症度と新しくなった薬物療法. 治療 2010;92:1811-1816.
 55. 相澤久道、園部伸恵:喫煙と肺年齢. 呼吸器内科 2010;17:482-486.
 56. 相澤久道、伊藤光佑:10. COPD の管理と治療. ① 管理の目標. 慢性閉塞性肺疾患
 57. 相澤久道、伊藤光佑:10. COPD の管理と治療. ① 管理の目標. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)のマネジメ

- ント改訂版 72-78, 2010.
58. 相澤久道、伊藤光佑：1. COPD とは. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) のマネジメント改訂版 10-15, 2010.
 59. 相澤久道：5 呼吸器疾患. 呼吸器疾患 最近の動向. 今日の治療指針 私はこう治療している 226-230, 2010.
 60. 田中宏幸、稲垣直樹、永井博弼：アレルギー性炎症におけるリモデリングのメカニズム. 臨床免疫・アレルギー科, 52; 58-63: 2009.
 61. 田中宏幸、山下弘高、稲垣直樹：気道アレルギーにおける抗原感作と発症への感染の関与 アレルギーの臨床, 31; 47-52: 2011
 62. 田中宏幸、山下弘高、稲垣直樹：気道アレルギーにおける抗原感作と発症への感染の関与 アレルギー・免疫, 2012 (in press)
 63. 細木興亜, 長尾みづほ, 平口雪子, 徳田玲子, 藤澤隆夫. RS ウイルス感染症入院例における退院後の喘鳴についての検討. アレルギー 58:1521-1529. 2009.
 64. 藤澤隆夫 小児気管支喘息の病態生理 小児科臨床 62(3), 383-388, 2009
 65. 藤澤隆夫 好酸球の細胞生物学 総合アレルギー学(福田健 編)改訂 2 版 2010 年 南山堂 東京
 66. 藤澤隆夫 アレルギーを理解するための基礎知識：好酸球 アレルギー疾患イラストレイテッド メディカルレビュー社 東京 2010
 67. 藤澤隆夫 最新の喘息ガイドラインのポイント：小児喘息のガイドライン 医学のあゆみ 233(1)：19-24, 2010
 68. 社団法人日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会：大田健、秋山一男、西間三馨 (監修) 『喘息予防・管理ガイドライン 2009』作成委員 (作成). 喘息予防・管理ガイドライン 2009. 協和企画
 69. 大田 健：喘息死ゼロを目指して. 日本内科学会雑誌. 2009;98 Suppl:90-1
 70. 大田 健：世界のガイドラインにおける治療戦略 (GINA、JGL) 成人. 医薬ジャーナル. 2009;45:1349-57.
 71. 大田 健：喘息予防・管理ガイドライン 2006 (JGL2006). 成人病と生活習慣病. 2009;39:671-5
 72. 大田 健：アレルギー疾患の現況と今後の展望 特に喘息を中心に. 日本臨床. 2009;67:2033-8
 73. 大田 健:気管支喘息ガイドライン 2009. 呼吸. 2009;28:974-80
 74. 大田 健：喘息の克服を目指して. アレルギー. 2009;58:1497-501
 75. 山口正雄、大田 健：吸入ステロイド薬の併用薬の選択順位とその効果のエビデンスは？. 33-36. EBM アレルギー疾患の治療. 中外医学社. 2009.
 76. 大田 健、秋山一男、足立満、河野陽一、岡本美孝、竹中洋、Pawankar R, Khaltayev N, Bousquet J. ARIA2008-日本の視点からの評価. アレルギー. 2010;59:528-35.
 77. 大田 健：成人喘息における生物学的製剤の使い方. アレルギー. 2010;59:795-802.
 78. 大田 健：成人喘息の治療ガイドライン. 日本医師会雑誌. 2011;140:521-4.
 79. 大田 健：喘息を合併した COPD の治療法. 日本胸部臨床. 2011;70:128-33.
 80. 大田 健：難治性喘息-その診断と最新の治療. 東京都医師会雑誌. 2011;64:21-5.
- 学会発表
1. 森 晶夫、山口美也子、北村紀子、大友隆之、大村武雄、須甲松信：成人喘息の QOL-厚生労働科学研究須甲班調査から、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会シンポジウム 3 「アレルギー患者の QOL の評価と活用と展望」、アレルギー 58：301, 2009. 6. 4 (岐阜)
 2. 森 晶夫、北村紀子、大友隆之、前田裕二、谷口正実、大友 守、福富友馬、長谷川真紀、秋山一男、神沼 修：重症喘息の機序とその対策、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会シンポジウム 8 「重症喘息の病態と患者に優しい治療とその開発」、アレルギー 58：313, 2009. 6. 5 (岐阜)
 3. 小野恵美子、谷口正実、東 憲考、三田晴久、梶原景一、山口裕礼、龍野清香、谷本英則、福富友馬、関谷潔史、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山一男：喘息病態における好塩基球活性化マーカー CD203c の発現変化、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58：371, 2009. 6. 5 (岐阜)
 4. 小野恵美子、谷口正実、東 憲考、三田晴久、山口裕礼、東 愛、梶原景一、伊藤伊津子、龍野清香、谷本英則、福富友馬、押方智也子、関谷潔史、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山一男：炎症性メディエーターと各種アレルギー・炎症疾患、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58：386, 2009. 6. 5 (岐阜)
 5. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、三富弘之、齋藤博士、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、福富友馬、小野恵美子、関谷潔史、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川真紀、中澤卓也、安枝 浩、秋山一男：約 12 年の気管支喘息の経過で発症した *Aspergillus niger* によるアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の一例、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58：393, 2009. 6. 4 (岐阜)
 6. 関谷潔史、谷口正実、福富友馬、龍野清香、谷本英則、押方智也子、小野恵美子、粒来崇博、東 憲考、中澤卓也、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、

- 森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人の間欠型喘息における肺機能からみた重症度評価の検討、第21回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58 : 398, 2009. 6. 4 (岐阜)
7. 谷本英則、谷口正実、関谷潔史、龍野清香、福富友馬、小野恵美子、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：高用量 ICS や β 刺激薬でも低肺機能が持続する重症喘息—臨床的に真のリモデリングと言えるのか、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58 : 417, 2009. 6. 5 (岐阜)
 8. 龍野清香、谷口正実、福富友馬、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、関谷潔史、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、中澤卓也、安枝 浩、石井豊太、秋山一男：イネ科花粉アレルギーの臨床症状—カモガヤ特異的 IgE 単独陽性例の検討、第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 58 : 423, 2009. 6. 5 (岐阜)
 9. 谷本英則、谷口正実、竹内保雄、齋藤明美、龍野清香、福富友馬、小野恵美子、関谷潔史、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、中澤卓也、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) 30 例の臨床的検討、第 49 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 47 : 246, 2009. 6. 13 (東京)
 10. 押方智也子、釣木澤尚美、三富弘之、齋藤博士、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、福富友馬、小野恵美子、関谷潔史、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：アレルギー性気管支肺真菌症における気道過敏性、気道リモデリングの検討、第 49 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 47 : 246, 2009. 6. 13 (東京)
 11. 関谷潔史、谷口正実、福富友馬、龍野清香、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、粒来崇博、東 憲考、中澤卓也、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人の自覚症状が軽症間欠型である喘息における肺機能・気道過敏性・気道炎症からみた重症度評価と持続的気流閉塞の検討、第 49 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 47 : 277, 2009. 6. 14 (東京)
 12. 福富友馬、谷口正実、関谷潔史、龍野清香、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、東 憲考、中澤卓也、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人喘息患者における気流閉塞—短期間喫煙でも持続的気流閉塞を生じるか、第 49 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 47 : 314, 2009. 6. 14 (東京)
 13. 大友隆之、神沼 修、北村紀子、森 晶夫：T細胞依存的な気道過敏性亢進における好酸球の影響、アレルギー・好酸球研究会 2009、抄録集 p. 6, 2009. 6. 20 (東京)
 14. 神沼 修、北村紀子、本井祐二、北村ふじ子、宮武昌一郎、三好浩之、巽英樹、根本荘一、森 晶夫、廣井隆親：ヒト T 細胞の IL-4 に対する C-terminal binding protein の役割、アレルギー・好酸球研究会 2009、抄録集 p. 12, 2009. 6. 20 (東京)
 15. 鈴木一矢、神沼 修、森 晶夫、廣井隆親：マウスを用いた舌下免疫療法のモデル実験系の開発、アレルギー・好酸球研究会 2009、抄録集 p. 17, 2009. 6. 20 (東京)
 16. 龍野清香、粒来崇博、谷口正実、福富友馬、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、関谷潔史、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：副鼻腔炎の合併は気流制限なく臨床的にコントロールされている喘息患者における呼気 NO 高値の危険因子である、第 19 回国際喘息学会日本北アジア部会、プログラム・抄録集 p. 67, 2009. 7. 10 (東京)
 17. 関谷潔史、谷口正実、福富友馬、龍野清香、谷本英則、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：自覚症状が軽症間欠型の若年成人喘息における臨床的検討、第 19 回国際喘息学会日本北アジア部会、プログラム・抄録集 p. 76, 2009. 7. 11 (東京)
 18. 谷本英則、竹内保雄、谷口正実、龍野清香、福富友馬、関谷潔史、森 晶夫、長谷川眞紀、齋藤明美、安枝 浩、秋山一男：自覚症状が軽症間欠型の若年成人喘息における臨床的検討、第 19 回国際喘息学会日本北アジア部会、プログラム・抄録集 p. 79, 2009. 7. 11 (東京)
 19. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤博士、齋藤明美、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、福富友馬、関谷潔史、中澤卓也、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺真菌症と真菌症と真菌感作喘息の病態における制御性 T 細胞に関する検討、第 59 回日本アレルギー学会秋期学術大会、アレルギー 58 (8・9) : 1204, 2009. 10. 29 (秋田)
 20. 神沼 修、大友隆之、森 晶夫、長久保大輔、稗島州雄、義江 修、鈴木一矢、廣井隆親：T細胞依存性の好酸球気道炎症に対する CCR4 拮抗薬の作用、第 59 回日本アレルギー学会秋期学術大会、アレルギー 58 (8・9) : 1206, 2009. 10. 29 (秋田)
 21. 谷本英則、谷口正実、竹内保雄、齋藤明美、龍野清香、福富友馬、関谷潔史、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、中澤卓也、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) 40 例の臨床的検討、第 59 回日本アレルギー学会秋

- 期学術大会、アレルギー 58 (8・9) : 1213, 2009. 10. 29 (秋田)
22. 関谷潔史、谷口正実、谷本英則、龍野清香、福富友馬、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年老人における喘息大発作入院症例の臨床背景の検討、第 59 回日本アレルギー学会秋期学術大会、アレルギー 58 (8・9) : 1213, 2009. 10. 29 (秋田)
 23. Kaminuma, O., Kitamura, F., Miyatake, S., Yamaoka, K., Kitamura, N., Mori, A., and Hiroi, T. T-bet の高発現がヒト Th2 分化における不完全性の要因である/Hyperexpression of T-bet is responsible for incomplete human Th2 differentiation. 日本免疫学会総会 2009 proceedings of the Japanese Society for Immunology 39:150, 2009. 12. 2-4 (大阪)
 24. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、中澤卓也、齋藤博士、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、福富友馬、関谷潔史、谷口正実、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：アトピー型成人喘息患者における環境中ダニアレルギー量モニタリングの有用性の検討、第 50 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 48 : 175, 2010. 4. 23 (京都)
 25. 関谷潔史、谷口正実、谷本英則、龍野清香、福富友馬、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友守、森 晶夫、前田裕二、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人喘息大発作入院症例における臨床的背景の検討、第 50 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 48 : 335, 2010. 4. 25 (京都)
 26. 福富友馬、谷口正実、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、押方智也子、小野恵美子、関谷潔史、釣木澤尚美、東 憲孝、中澤卓也、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：成人喘息難治化因子の臨床的検討～特に性差に注目して～、第 50 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 48 : 336, 2010. 4. 25 (京都)
 27. 龍野清香、粒来崇博、谷口正実、福富友馬、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、関谷潔史、釣木澤尚美、大友守、前田裕二、中澤卓也、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：副鼻腔炎の合併は気流制限なく臨床的に安定している喘息患者における呼気 NO 高値の予測因子である、第 50 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 48 : 363, 2010. 4. 25 (京都)
 28. 関谷潔史、谷口正実、谷本英則、龍野清香、福富友馬、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、東 憲孝、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人の喘息大発作はここ 10 年でどう変化したのか、第 22 回日本アレルギー学会春期臨床大会、アレルギー 59 : 376, 2010. 5. 8 (京都)
 29. 谷本英則、谷口正実、竹内保雄、齋藤明美、武市清香、福富友馬、関谷潔史、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、中澤卓也、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：ABPA-Seropositive の臨床的検討、第 22 回日本アレルギー学会春期臨床大会、アレルギー 59 : 378, 2010. 5. 8 (京都)
 30. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、中澤卓也、齋藤博士、粒来崇博、武市清香、谷本英則、関谷潔史、谷口正実、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：成人喘息患者における超極細線維フトンカバーによる環境調整の有用性に関する検討、第 22 回日本アレルギー学会春期臨床大会、アレルギー 59 : 385, 2010. 5. 8 (京都)
 31. 齋藤明美、押方智也子、釣木澤尚美、粒来崇博、龍野清香、谷本英則、福富友馬、関谷潔史、谷口正実、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、田中 昭、池田玲子、中澤卓也、安枝 浩、秋山一男：過敏性肺炎における沈降抗体反応とイムノキャップ Ta の有用性、第 22 回日本アレルギー学会春期臨床大会、アレルギー 59 : 414, 2010. 5. 8 (京都)
 32. 武市清香、粒来崇博、谷口正実、福富友馬、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、関谷潔史、釣木澤尚美、大友守、前田裕二、中澤卓也、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：副鼻腔炎の合併は気流制限なく臨床的に安定している喘息患者における呼気 NO 高値の予測因子である、第 20 回国際喘息学会日本・北アジア部会 プログラム・抄録集 p. 59, 2010. 7. 2-3 (東京)
 33. 関谷潔史、谷口正実、福富友馬、武市清香、谷本英則、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：若年成人喘息大発作入院症例における臨床背景の変化、第 20 回国際喘息学会日本・北アジア部会 プログラム・抄録集 p. 61, 2010. 7. 2-3 (東京)
 34. 谷本英則、谷口正実、竹内保雄、齋藤明美、武市清香、福富友馬、関谷潔史、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 43 例の臨床的検討、第 20 回国際喘息学会日本・北アジア部会 プログラム・抄録集 p. 62, 2010. 7. 2-3 (東京)
 35. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、齋藤博士、粒来崇博、谷本英則、関谷潔史、谷口正実、大友守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、中澤卓也、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) とアスペルギルスに感作された成人喘息 (FSBA) のアレルギー特異的 IgE 抗体に関する比較検討、第 20 回国際喘息学会日本・北アジア部会 プログラム・抄録集 p. 69, 2010. 7. 2-3 (東京)
 36. 神沼 修、北村紀子、北村ふじ子、巽 英樹、根本莊一、宮武昌一郎、三好浩之、森 晶夫、廣井隆親：ヒト Th1/Th2 分化に対する ZFPM1 の役割、

- アレルギー・好酸球研究会 2010、抄録集 p. 21, 2010. 6. 19 (東京)
37. 安部暁美、大友隆之、神山 智、北村紀子、神沼修、森 晶夫：T細胞クローン移入喘息モデルによるステロイド感受性解析、アレルギー・好酸球研究会 2010、抄録集 p. 36、2010. 6. 19 (東京)
 38. 森 晶夫、北村紀子、安部暁美、荒川真理子、山口美也子、神山 智、福富友馬、谷本英則、押方智也子、関谷潔史、大友 守、谷口正実、前田裕二、長谷川眞紀、秋山一男、大友隆之、神沼 修：ワークショップ7「難治性アレルギー疾患における真菌の役割」わが国の重症喘息の病態と真菌抗原による非 IgE 依存性喘息反応、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1283、2010. 11. 27 (東京)
 39. 神沼 修、北村紀子、森 晶夫、巽 英樹、根本 莊一、廣井隆親：ZFPML1/CtBP1 コンプレックスは GATA-3 による Th2 分化を抑制する、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1399、2010. 11. 26 (東京)
 40. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、齋藤博士、粒来崇博、三井千尋、谷本英則、関谷潔史、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、中澤卓也、安枝 浩、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症とアスペルギルス感作成人喘息の臨床像と IgE 抗体産生に関する検討、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1400、2010. 11. 27 (東京)
 41. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、中澤卓也、粒来崇博、三井千尋、谷本英則、関谷潔史、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、西岡謙二、安枝 浩、秋山一男：環境中ダニアレルゲン量は成人喘息患者の臨床症状を反映する—2 臨床—、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1424、2010. 11. 27 (東京)
 42. 三井千尋、谷口正実、東 憲孝、小野恵美子、梶原景一、福富友馬、粒来崇博、関谷潔史、谷本英則、石井豊太、森 晶夫、三田晴久、長谷川眞紀、秋山一男：NSAID s 過敏喘息の難治化と CysLTs 過剰産生、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1446、2010. 11. 26 (東京)
 43. 武市清香、粒来崇博、谷口正実、福富友馬、三井千尋、谷本英則、小野恵美子、押方智也子、関谷潔史、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、中澤卓也、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：喘息が臨床的に安定しているにもかかわらず呼気 NO 高値の症例の経過、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1467、2010. 11. 27 (東京)
 44. 関谷潔史、谷口正実、福富友馬、三井千尋、谷本英則、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：喘息大発作症例の臨床的検討、第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 59 (9) : 1477、2010. 11. 27 (東京)
 45. 加藤茂樹、清水大樹、尾長谷靖、森 晶夫、岡三喜男：マウス喘息モデルの Th2 細胞性気道炎症における Neu1 シアリダーゼの役割、第 51 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 49 (増刊号) : 145、2011. 4. 22 (東京)
 46. 三井千尋、谷口正実、東 憲孝、小野恵美子、梶原景一、福富友馬、粒来崇博、関谷潔史、谷本英則、石井豊太、森 晶夫、三田晴久、長谷川眞紀、秋山一男：NSAID s 過敏喘息の難治化と CysLTs 過剰産生、第 51 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 49 (増刊号) : 179、2011. 4. 22 (東京)
 47. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤明美、中澤卓也、粒来崇博、三井千尋、谷本英則、福富友馬、関谷潔史、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、安枝 浩、秋山一男：環境中ダニアレルゲン量はアトピー型成人気管支喘息患者の臨床症状を反映する、第 51 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 49 (増刊号) : 180、2011. 4. 22 (東京)
 48. 関谷潔史、谷口正実、三井千尋、谷本英則、福富友馬、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、森 晶夫、前田裕二、長谷川眞紀、秋山一男：喘息大発作症例の臨床的検討、第 51 回日本呼吸器学会学術講演会、日本呼吸器学会雑誌 49 (増刊号) : 312、2011. 4. 24 (東京)
 49. 三井千尋、谷口正実、福富友馬、谷本英則、東 憲孝、押方智也子、関谷潔史、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：アスピリン喘息における持続的気流制限の検討、第 23 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 60 (3, 4) : 456、2011. 5. 14 (千葉)
 50. 谷本英則、谷口正実、竹内保雄、三井千尋、武市清香、福富友馬、関谷潔史、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、齋藤明美、中澤卓也、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) において、発症年齢による臨床的な違いはあるのか、第 23 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 60 (3, 4) : 463、2011. 5. 14 (千葉)
 51. 関谷潔史、谷口正実、三井千尋、福富友馬、谷本英則、押方智也子、粒来崇博、釣木澤尚美、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：喘息大発作症例の臨床的検討、第 23 回日本アレルギー学会春季臨床大会、アレルギー 60 (3, 4) : 490、2011. 5. 15 (千葉)
 52. 安部暁美、神山 智、大友隆之、北村紀子、神沼修、森 晶夫：ヒト気管支平滑筋細胞ゲルを用いた気管支収縮因子の探索、アレルギー・好酸球研究会 2011、抄録集 p. 6、2011. 6. 18 (東京)

53. 神沼修、北村紀子、北村ふじ子、巽英樹、根本莊一、宮武昌一郎、森 晶夫、廣井隆親：T細胞のIL-17産生に対するNFATファミリーの機能的相違、アレルギー・好酸球研究会2011、抄録集p. 24、2011. 6. 18（東京）
54. 佐伯真弓、鈴木一矢、西村友枝、神沼修、高井敏郎、大友隆之、森 晶夫、高岩文雄、廣井隆親：形質転換イネを用いたダニアレルギー治療米の開発、アレルギー・好酸球研究会 2011、抄録集 p. 29、2011. 6. 18（東京）
55. 押方智也子、釣木澤尚美、齋藤博士、粒来崇博、三井千尋、谷本英則、高橋健太郎、関谷潔史、美濃口健治、谷口正実、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：アレルギー性気管支肺真菌症と真菌感作喘息の病態におけるTh17細胞の意義に関する検討、第61回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 60(9,10)：1361、2011. 11. 10（東京）
56. 中澤卓也、森田裕司、齋藤明美、安枝 浩、三井千尋、高橋健太郎、関谷潔史、谷本英則、福富友馬、釣木澤尚美、押方智也子、粒来崇博、大友 守、前田裕二、森 晶夫、石井豊太、谷口正実、長谷川眞紀、秋山一男：セツキシマブに対するIgE抗体とマダニ咬傷 第2報、第61回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 60(9,10)：1364、2011. 11. 10（東京）
57. 西村友枝、佐伯真弓、神沼修、松村邦枝、米川博通、大友隆之、森 晶夫、廣井隆親：アレルギー性鼻炎発症におけるT細胞の役割、第61回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 60(9,10)：1402、2011. 11. 11（東京）
58. 三井千尋、谷口正実、東 憲孝、小野恵美子、梶原景一、福富友馬、谷本英則、高橋健太郎、押方智也子、関谷潔史、粒来崇博、釣木澤尚美、美濃口健治、大友 守、前田裕二、森 晶夫、長谷川眞紀、秋山一男：アスピリン喘息におけるアトピー要因、第61回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー 60(9,10)：1444、2011. 11. 12（東京）
59. Kaminuma O, Katoh S., Mori A., Hiroi T. : 抗原誘発気道内Th2細胞浸潤に対するCD44の選択的役割、2011日本免疫学会総会、2011 Proceedings of the Japanese Society for Immunology 40:164、2011. 11. 28（幕張）
60. Watanabe N, Kaminuma O, Kitamura N, Mori A, Hiroi T : 抗原特異的Treg細胞によるTh1、Th2およびTh17細胞依存性腸炎に対する抑制効果の検討、2011日本免疫学会総会、2011 Proceedings of the Japanese Society for Immunology 40:176、2011. 11. 28（幕張）
61. 谷本 安、佐久川亮、井上由佳理、齋藤博久、高橋 清、谷本光音：シンポジウム12 アレルギーと炎症細胞（メディエーターも含む） S12-2. 好塩基球 第21回日本アレルギー学会春季臨床大会（岐阜）、2009.
62. 谷本 安、高橋 清、能島大輔、早稲田公一、平野淳、木村五郎、岡田千春、宗田 良、片岡幹男、谷本光音：シンポジウム4 重症および治療困難な成人喘息の原因の多様性と対策 S4-4 非アトピー型喘息 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会（東京）、2010.
63. 谷本 安、平野 淳、尾長谷 靖、有田真知子、佐藤利雄、高橋 清、谷本光音：喘息治療におけるフルチカゾン・サルメテロール配合剤の服薬アドヒアランスに関する検討 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会（京都）、2010.
64. 今野 哲、福富友馬、谷口正実、中村裕之、小林章雄、河岸由紀夫、岡田千春、谷本 安、高橋 清、烏帽子田彰、小田嶋博、中川武正、秋山一男、西村正治、赤澤 晃：本邦のアレルギー性鼻炎有病率とその危険因子 日本語版ECRHS調査票による疫学調査。第60回日本アレルギー学会秋季学術大会（東京）、2010.
65. 能島大輔、谷本 安、栗本悦子、早稲田公一、宮原信明、金廣有彦、岸本卓巳、片岡幹男、高橋清、谷本光音：ヒト好塩基球の抗原提示能に関する検討 -IL-3で活性化された好塩基球はHLA-DRを発現する-。第60回日本アレルギー学会秋季学術大会（東京）、2010.
66. 宮原信明、武田勝行、古賀 光、谷口暁彦、能島大輔、瀧本康子、谷本 安、金廣有彦、片岡幹男、Gelfand E、谷本光音：動物モデルを用いた喘息病態と治療法開発 アレルギー性気道反応における経口免疫寛容の効果。第60回日本アレルギー学会秋季学術大会（東京）、2010.
67. 福富友馬、谷口正実、中村裕之、小林章雄、今野哲、西村正治、河岸由紀男、岡田千春、谷本 安、高橋 清、烏帽子田彰、小田嶋博、中川武正、赤澤 晃、秋山一男：本邦の成人喘息有病率とその危険因子 日本語版 ECRHS 調査票による Nationwide cross-sectional population-based study. 第50回日本呼吸器学会学術講演会（京都）、2010.
68. 谷本 安、谷口暁彦、能島大輔、栗本悦子、早稲田公一、古賀 光、宮原信明、木浦勝行、宗田 良、片岡幹男、谷本光音：オキサリプラチンアレルギーを獲得した大腸癌患者に対する減感作によるオキサリプラチン再投与の検討 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会（東京）、2011.
69. 谷本 安、高橋 清、岡田千春、平野 淳、山中隆夫、木村五郎、宗田 良、佐藤利雄、有田真知子、谷本光音：シンポジウム12 増加するアレルギー疾患への対策を考える 気管支喘息を診療する医師の立場から（成人） 第23回日本アレルギー学会春季臨床大会（千葉）、2011.
70. 谷本 安、陳 妍妍、張 丹、瀧川奈義夫、能島大輔、早稲田公一、平野 淳、木村五郎、岡田千春、宗田 良、高橋 清、片岡幹男、谷本光音：成人気

- 管支喘息における呼気凝縮液中の ECP、IL-8 と喘息コントロール状態に関する検討 第23回日本アレルギー学会春季臨床大会 (千葉), 2011.
71. 中尾栄男、東 公一、枝國信貴、池田二郎、川山智隆、相澤久道: ゲフィチニブ投与歴のある非小細胞肺癌に対するエルロチニブ投与に関する第Ⅱ相試験. 第 49 回日本呼吸器学会総会学術講演会, 2009. 6. 12
 72. 木下 隆、川山智隆、池堂ゆかり、坂崎優樹、今村陽平、星野友昭、相澤久道: COPD 診断における呼気吸気胸部単純 X 線の有用性. 第 49 回日本呼吸器学会総会学術講演会, 2009. 6. 12-14
 73. 戸田玲子、富岡竜介、向野達也、木下 隆、坂崎優樹、澤田昌典、川山智隆、星野友昭、相澤久道: 一般市民を対象とした肺年齢と IPAG 質問票の有用性の検証. 第 49 回日本呼吸器学会総会学術講演会, 2009. 6. 12-14
 74. 枝國信貴、戸田玲子、関塚友美、中村雅之、平原奈奈、藤本公則、相澤久道: CT ガイド下気管支鏡検査による肺病変の診断: CT ガイド下肺生検法、テレビ透視下気管支鏡との比較. 第 49 回日本呼吸器学会総会学術講演会, 2009. 6. 12-14
 75. 相澤久道: COPD の最新治療戦略—大規模臨床試験のエビデンス—. 第 50 回日本人間ドック学会学術大会, 東京, 2009. 9. 3
 76. 相澤久道: 概念・ガイドラインから『ガイドラインに基づく喘息と COPD の診療』. 第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009. 10. 29
 77. 相澤久道: 日本語版 CAT プロジェクトの取り組みについて. 日本喘息・COPD フォーラム第 7 回総会, 東京, 2010. 3. 6
 78. 坂崎 優樹、星野 友昭、川山 智隆、木下 隆、武井 仁子、澤田 昌典、小田 華子、北里 裕彦、岩永 知秋、相澤久道: 非喫煙喘息死患者の気道リモデリングと炎症細胞の解析. 日本内科学会, 東京, 2010. 4. 10
 79. 相澤久道: COPD と喘息. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 23-25
 80. 相澤久道: COPD Assessment Test (CAT) 日本語版の作成. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 23-25
 81. Y. Sakazaki, T. Hoshino, M. Sawada, H. Oda, S. Takei, Y. Kitasato, M. Yoshida, T. Iwanaga, T. Kawayama, H. Aizawa. Characteristics of fatal asthma: CD8+ T cells and eosinophils were recruited into airways in fatal asthma. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 24
 82. 木下隆、星野友昭、坂崎優樹、澤田昌典、小田華子、川山智隆、相澤久道: Elastase 誘導性気腫における Caspase-1 の役割. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 23-25
 83. 田尻守弘、岡元昌樹、川山智隆、星野友昭、相澤久道: 当院における皮膚筋炎合併間質性肺炎患、特発性肺線維症の急性増悪の臨床的検討. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 23-25
 84. M. Sawada, R. Toda, Y. Sakazaki, T. Kawayama, T. Hoshino, H. Aizawa. Detection and Evaluation of Severity of COPD using IPAG Questionnaires: Evaluation of IPAG Questionnaires for COPD in Japan. 第 50 回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2010. 4. 23-25
 85. 相澤久道: 高齢者喘息: 病態の特徴と診断. 第 22 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京都, 2010. 5. 8-9
 86. 相澤久道: COPD 共同研究について. 第 3 回 KASCOM 総会, 福岡, 2010. 5. 22
 87. 田中宏幸、高橋 剛、若原恵子、橋本末樹子、三好康介、山下弘高、稲垣直樹、永井博弼: 気道リモデリング形成における環境因子の役割. 第 29 回気道分泌研究会 (2009 年 4 月、東京)
 88. 田中宏幸: アレルギー反応とプロスタグランジン D₂. 第 9 回愛知成人喘息研究会 特別講演 (2009 年 9 月、名古屋)
 89. 田中宏幸: シンポジウム アレルギー疾患のオーダーメイド治療 薬学者からの発信. 第 22 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2010 年 5 月、京都)
 90. 田中宏幸: シンポジウム アレルギー疾患の薬物治療に役立つ基礎薬理学 アレルギー治療薬—免疫療法薬—の基礎. 第 22 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2010 年 5 月、京都)
 91. 田中宏幸: ワークショップ 動物モデルによる病態解明の進歩 ウィルス感染による喘息発症の促進機構—マウスモデルを用いた検討—. 第 60 回アレルギー学会秋季学術大会 (2010 年 11 月、東京)
 92. 田中宏幸: シンポジウム ダニ抗原誘発による喘息様病態の解析から見えてきた創薬ターゲット生体機能と創薬シンポジウム 2011 (2011 年 9 月、東京)
 93. 大田 健: 気管支喘息 診断と管理 疫学と実態調査 アレルギー性鼻炎合併喘息全国実態調査 (第一報). 日本アレルギー学会秋季学術大会. 2009 年 9 月.
 94. 大田 健: 気管支喘息治療の将来展望 各種喘息治療薬のガイドラインでの位置付け. 日本アレルギー学会秋季学術大会. 2009 年 9 月.
 95. 大田 健: 気管支喘息ガイドライン. 日本アレルギー学会秋季学術大会. 2009 年 9 月.
 96. 大田 健: アレルギーの免疫療法と抗体療法 成人喘息に対する生物学的製剤の有用性. 日本アレルギー学会春季臨床大会. 2009 年 4 月.
 97. 大田 健、山口正雄: シンポジウム IgE を介した即時型反応の意義 再考. 抗 IgE 抗体療法により解明されたこと—小児への可能性も含めて—. 日本小児アレルギー学会. 2009 年 12 月.

98. 山口正雄、鈴木真穂、瀨藤力也、長瀬洋之、大田健：臨床・研究のための技術・技能プラクティカルセミナー3 ヒト好塩基球の分離と機能評価の実際。日本アレルギー学会秋季学術大会。2009年10月。
99. 瀨藤力也、山口正雄、川上綾子、鈴木真穂、小宮明子、関谷 剛、飯倉元保、長瀬洋之、山田浩和、松本健治、斎藤博久、羅 智晴、山本一彦、大田健：低濃度抗FcεRIα抗体によるヒト好塩基球・マスト細胞の活性化制御。第19回国際喘息学会日本北アジア部会。2009年7月。
100. 大田 健：喘息治療の現状と将来展望 Best Strategy を考える 喘息治療の現状 Best Strategy を考える。日本アレルギー学会秋季学術大会。2010年10月。
101. 大田 健：喘息予防・管理ガイドライン 今後の方向性と展望。日本アレルギー学会秋季学術大会。2010年10月。
102. 鈴木真穂、Han Kaiyu、山口正雄、杉本直也、中瀬裕子、戸田貴子、原 麻恵、小島康弘、吉原久直、倉持美知雄、田下浩之、新井秀宜、長瀬洋之、鈴木直仁、大田 健：ミニワークショップ。Advanced glycation endproducts (AGEs)がヒト好塩基球に及ぼす作用の解析。日本アレルギー学会秋季学術大会。2010年11月。
103. 大田 健：国際喘息ガイドライン(GINA2009)。日本呼吸器学会総会。2011年3月。
104. 大田 健：喘息死ゼロに向けた新たなアプローチ。日本アレルギー学会秋季学術大会。2011年10月。
105. 大田 健：重症喘息に対する抗IgE抗体治療 抗ヒトIgE抗体療法の臨床的貢献 全例調査の中間報告を含めて。日本アレルギー学会秋季学術大会。2011年10月。
106. 烏帽子田彰：シンポジウム 環境と健康～幼児への影響～ H23. 8. 23 山口県総合保健会館
107. 中村裕之：免疫・アレルギーのバイオマーカーと産業保健。第79回日本産業衛生学会、2006年5月、仙台
108. 中村裕之、秋丸国広、弘田量二、大下喜子、江間宏樹、亀井麻依子、小林健太郎、土居麻悠、中嶋安曜、渡部敬之、笹原信一郎、松崎一葉：アレルギー性疾患における代替医療に関するメタアナライシス。第16回体力・栄養免疫学会、2006年8月、東京
109. 秋丸国広、弘田量二、中村剛、張達川、中村裕之：水道水中アレルギー発症物質についての研究。第56回日本アレルギー学会秋季学術大会、2006年11月、東京
110. 中村裕之、秋丸国広、張達川、弘田量二、中村剛、遠藤朝彦、今井透、本橋豊、松崎一葉、笹原信一郎、荻野景規、小笹晃太郎、八田耕太郎、烏帽子田彰：スギ花粉症における MCP-1(monocyte chemoattractant protein 1, CCL2)の遺伝子多型ハプロタイプに関する相関解析。第4回日本予防医学学会、2006年12月、さいたま
111. 弘田量二、秋丸国広、中村剛、張達川、中村裕之：IL-1 誘導 MCP-1 産生を指標とした環境化学物質の影響評価。第6回分子予防環境医学研究会、2006年12月、京都
112. 弘田量二、秋丸国広、沢村正義、中村裕之：Citrus抽出 essential oil の抗アレルギー効果についての検討。第77回日本衛生学会総会、2007年3月、大阪
113. 神林康弘、Nguyen Thanh Binh, 人見嘉哲, 日比野由利, 中村裕之, 荻野景規：簡便な血漿総抗酸化能測定法の開発。第29回日本フリーラジカル学会学術集会, 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会第31回大会合同学会, 2007年6月, 名古屋
114. 神林康弘, 人見嘉哲, 日比野由利, 中村裕之, 荻野景規：好酸球活性化マーカーであるプロモチロシンに対する抗体の作成。第17回体力・栄養・免疫学会, 2007年8月, 東京
115. 神林康弘, Nguyen Thanh Binh, 人見嘉哲, 日比野由利, 中村裕之, 荻野景規：マイクロプレートを用いた血漿総抗酸化能測定系 (TEAC) の開発。第7回分子予防環境医学研究会, 2007年10月, 北九州
116. 神林康弘, 人見嘉哲, 日比野由利, 中村裕之, 荻野景規：好酸球活性化マーカーである(ジ)プロモチロシンを認識する抗体の作成。第5回日本予防医学学会学術総会, 2007年11月, 指宿
117. 中村裕之、弘田量二、秋丸国広、菅沼成文、康峪梅、櫻井克年：環境化学物質によるアレルギー発症を予防する。第6回グリーンサイエンス特別研究プロジェクト公開シンポジウム、2008年3月、高知
118. 中村裕之、弘田量二、烏帽子田彰：環境とアレルギー—環境中化学物質によるアレルギー発症機序の解明と予防。第58回日本アレルギー学会秋季学術大会、2008年11月、東京

2) 海外

口頭発表	37件
原著論文による発表	118件
それ以外(レビュー等)の発表	0件
その内主なもの	

論文発表

1. Kitamura, N., Kaminuma, O., Ohtomo, T., Kiyokawa, N., Kobayashi, N., Suko, M., and Mori, A. Evaluation of cysteinyl leukotriene-induced contraction of human cultured bronchial smooth muscle cells. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 149 (Suppl 1):83-86, 2009.
2. Ohtomo, T., Kaminuma, O., Kitamura, N., Suko, M., Kobayashi, N., and Mori, A. Murine Th clones confer late asthmatic response upon

- antigen challenge. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 149 (Suppl 1):2-6, 2009.
3. Yoshioka, M., Sagara, H., Takahashi, F., Harada, N., Nishio, K., Mori, A., Ushio, H., Shimizu, K., Okada, T., Ota, M., Ito, Y., Nagashima, O., Atsuta, R., Suzuki, T., Fukuda, T., Fukuchi, Y., Takahashi, K. Role of multidrug resistance-associated protein 1 in the pathogenesis of allergic airway inflammation. *Am. J. Physiol. Lung Cell. Mol. Physiol.* 296:L30-L36, 2009.
 4. Kitamura, N., Motoi, Y., Mori, A., Tatsumi, H., Nemoto, S., Miyoshi, H., Kitamura, F., Miyatake, S., and Kaminuma, O. Suppressive role of C-terminal binding protein 1 in IL-4 synthesis in human T cells. *Biochem. Biophys. Res. Co.* 382:326-330, 2009.
 5. Kaminuma, O., Kitamura, F., Miyatake, S., Yamaoka, K., Miyoshi, H., Inokuma, S., Tatsumi, H., Nemoto, S., Kitamura, N., Mori, A., and Hiroi, H. T-box transcription factor is responsible for distorted Th2 differentiation in human peripheral CD4⁺ T cells. *J. Allergy Clin. Immunol.* 123:813-820, 2009.
 6. Suzuki, K., Kaminuma, O., Yang, L., Motoi, Y., Takai, T., Ichikawa, S., Okumura, K., Ogawa, H., Mori, A., Takaiwa, F., and Hiroi, T. Development of transgenic rice expressing mite allergen for a new concept of immunotherapy. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 149 (Suppl 1):21-24, 2009.
 7. Yamaoka, K., Okayama, Y., Kaminuma, O., Katayama, K., Mori, A., Tatsumi, H., Nemoto, S., and Hiroi, T. Proteomic approach to Fc \cdot RI aggregation-initiated signal transduction cascade in human mast cells. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 149 (Suppl 1):73-76, 2009.
 8. Kitamura, N., Katagiri, Y., Itagaki, M., Miyagawa, Y., Onda, K., Okita, H., Mori, A., Fujimoto, J., and Kiyokawa, N. The expression of granulysin in systemic anaplastic large cell lymphoma in childhood. *Leuk. Res.* 33:908-912, 2009.
 9. Ebisawa, T., Numazawa, K., Shimada, H., Izutsu, H., Sasaki, T., Kato, N., Tokunaga, K., Mori, A., Honma, K., Honma, S., and Shibata, S. Self-sustained circadian rhythm in cultured human mononuclear cells isolated from peripheral blood. *Neurosci. Res.* 66:223-227, 2010.
 10. Ohtomo, T., Kaminuma, O., Yamada, J., Kitamura, N., Abe, A., Kobayashi, N., Suko, M., and Mori, A. Eosinophils are required for the induction of bronchial hyperresponsiveness in a Th transfer model of Balb/c background. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 152 (Suppl 1):79-82, 2010.
 11. Kitamura, F., Kitamura, N., Mori, A., Tatsumi, H., Nemoto, S., Miyoshi, H., Miyatake, S., Hiroi, T., and Kaminuma, O. Selective down-regulation of Th2 cytokines by C-terminal binding protein 2 in human T cells. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 152 (Suppl 1):18-21, 2010.
 12. Kaminuma, O., Suzuki, K., and Mori, A. Effect of sublingual immunotherapy on antigen-induced bronchial and nasal inflammation in mice. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 152 (Suppl. 1):75-78, 2010.
 13. Katoh, S., Maeda, S., Fukuoka, H., Wada, T., Moriya, S., Mori, A., Yamaguchi, K., Senda, S., and Miyagi, T. A crucial role of sialidase Neu1 in hyaluronan receptor function of CD44 in T helper type 2-mediated airway inflammation of murine acute asthmatic model. *Clin. Exp. Immunol.* 161 (2):233-241, 2010.
 14. Seki, M., Kimura, H., Mori, A., Shimada, A., Yamada, Y., Maruyama, K., Hayashi, Y., Agematsu, K., Morio, T., Yachie, A., and Kato, M. Prominent eosinophilia but less eosinophil activation in a patient with Omenn syndrome. *Pediatr. Int.* 52:e196-e199, 2010.
 15. Abe, A., Ohtomo, T., Koyama, S., Kitamura, N., Kaminuma, O., and Mori, A. Comparative analysis of steroid sensitivity of Th cells *in vitro* and *in vivo*. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 155 (Suppl 1):110-116, 2011.
 16. Kitamura, N., Mori, A., Tatsumi, H., Nemoto, S., Hiroi, T., and Kaminuma, O. Zinc finger protein, multitype 1 suppresses human Th2 development via down-regulation of IL-4. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 155 (Suppl 1):53-56, 2011.
 17. Katoh, S., Kaminuma, O., Hiroi, T., Mori, A., Ohtomo, T., Maeda, S., Shimizu, H., Obase, Y., and Oka, M. 2011. CD44 is critical for a crucial role of airway accumulation of antigen-specific Th2 cells, but not Th1 cells, induced by antigen challenge in mice. *Eur. J. Immunol.* 41:3198-3207, 2011.
 18. Suzuki, K., Kaminuma, O., Yang, L., Takai, T., Mori, A., Umezū-Goto, M., Ohtomo, T., Ohmachi, Y., Noda, Y., Hirose, S., Okumura, K., Ogawa, H., Takada, K., Hirasawa, M., Hiroi, T., and Takaiwa, F. Prevention of allergic asthma by vaccination with transgenic rice seed expressing mite allergen: induction of allergen-specific oral tolerance without bystander suppression. *Plant Biotech. J.* 2011 (in press)

19. Kaminuma, O., Ohtomo, T., Mori, A., Nagakubo, D., Hieshima, K., Yoshie, O., Ohmachi, Y., Noda, Y., Kitamura, F., Katayama, K., Suzuki, K., Motoi, Y., and Hiroi, T. Selective down-regulation of Th2-mediated airway inflammation in mice by pharmacological intervention of CCR4. *Clin. Exp. Allergy* 2011 (in press)
20. Fukutomi, Y., Taniguchi, M., Tsuburai, T., Tanimoto, H., Oshikata, C., Ono, E., Sekiya, K., Higashi, N., Mori, A., Hasegawa, M., Nakamura, H., and Akiyama, K. Obesity and aspirin intolerance are risk factors for difficult-to-treat asthma in Japanese nonatopic women. *Clin. Exp. Allergy* 2011 (in press)
21. Abe, A., Koyama, S., Ohtomo, T., Kitamura, N., Kaminuma, O., and Mori, A. T cell-derived contractile activity for human bronchial smooth muscle cells. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 2012 (in press)
22. Yu H, Fujita J, Higa F, Yamadori I, Hibiya K, Yara S, Tateyama M, Tanimoto Y., Tanimoto M, Li H. Nonspecific interstitial pneumonia pattern as pulmonary involvement in human T-cell lymphotropic virus type 1 carriers. *J Infect Chemother* 15: 284- 7, 2009.
23. Matsuo T, Ichimura K, Sato Y, Tanimoto Y., Kiura K, Kanazawa S, Okada T, Yoshino T. Immunoglobulin G4 (IgG4)-positive or -negative ocular adnexal benign lymphoid lesions in relation to systemic involvement. *J Clin Exp Hematopathol* 50: 129-142, 2010.
24. Fukutomi Y, Nakamura H., Kobayashi F, Taniguchi M, Konno S, Nishimura M, Kawagishi Y, Watanabe J, Komase Y, Akamatsu Y, Okada C, Tanimoto Y., Takahashi K., Kimura T, Eboshida A., Hirota R, Ikei J, Odajima H, Nakagawa T, Akasawa A, Akiyama K. Nationwide cross-sectional population-based study on the prevalences of asthma and asthma symptoms among Japanese adults. *Int Arch Allergy Immunol* 153: 280-7, 2010.
25. Iio K, Ueno-Iio T, Okui Y, Ichikawa H, Tanimoto Y., Miyahara N, Kanehiro A, Tanimoto M, Nakata Y, Kataoka M. Experimental pulmonary granuloma mimicking sarcoidosis induced by Propionobacterium acnes in mice. *Acta Med Okayama* 64: 75-83, 2010.
26. Fukutomi Y, Taniguchi M, Nakamura H., Konno S, Nishimura M, Kawagishi Y, Okada C, Tanimoto Y., Takahashi K., Akasawa A, Akiyama K. Association between body mass index and asthma among Japanese adults: risk within the normal weight range. *Int Arch Allergy Immunol* 157: 281-7, 2011.
27. Fuchimoto Y, Kanehiro A, Miyahara N, Koga H, Ikeda G, Waseda K, Tanimoto Y., Ueha S, Kataoka M, Gelfand EW, Tanimoto M. Requirement for CCR5 in the development of allergen-induced airway hyperresponsiveness and inflammation. *Am J Respir Cell Mol Biol*, 2011 Jul 14. [Epub ahead of print]
28. Waseda K, Tanimoto Y., Hasegawa K, Miyahara N, Nojima D, Ikeda G, Kanehiro A, Okada C, Kimata Y, Tanimoto M. Churg-Strauss syndrome with necrosis of toe tips. *Acta Med Okayama* 65: 215-8, 2011.
29. Waseda K, Miyahara N, Kanehiro A, Ikeda G, Koga H, Fuchimoto Y, Kurimoto E, Tanimoto Y., Kataoka M, Tanimoto M, Gelfand EW. Blocking the leukotriene B4 receptor 1 inhibits late-phase airway responses in established disease. *Am J Respir Cell Mol Biol* 45: 851-7, 2011.
30. Izuhara K, Ohta S, Shiraishi H, Suzuki S, Taniguchi K, Toda S, Tanabe T, Yasuo M, Kubo K, Hoshino T, Aizawa H. The mechanism of mucus production in bronchial asthma. *Curr Med Chem.* 2009;16:2867-75.
31. Kitasato Y, Tao Y, Hoshino T, Tachibana K, Inoshima N, Yoshida M, Takata S, Okabayashi K, Kawasaki M, Iwanaga T, Aizawa H. Comparison of Aspergillus galactomannan antigen testing with a new cut-off index and Aspergillus precipitating antibody testing for the diagnosis of chronic pulmonary aspergillosis. *Respirology* 2009;14:701-8.
32. Yokoyama T, Toda R, Kimura Y, Mikagi M, Aizawa H. Addison's disease induced by miliary tuberculosis and the administration of rifampicin. *Intern Med.* 2009;48:1297-300.
33. Kashihara M, Azuma K, Kawahara A, Basaki Y, Hattori S, Yanagawa T, Terazaki Y, Takamori S, Shirouzu K, Aizawa H., Nakano K, Kage M, Kuwano M, Ono M. Nuclear Y-box binding protein-1, a predictive marker of prognosis, is correlated with expression of HER2/ErbB2 and HER3/ErbB3 in non-small cell lung cancer. *J Thorac Oncol.* 2009;4:1066-74.
34. Hoshino T, Toda R, Aizawa H. Pharmacological treatment in asthma and COPD. *Allergol Int.* 2009;58:341-6.
35. Imaoka H, Hoshino T, Okamoto M, Sakazaki Y, Sawada M, Takei S, Kinoshita T, Kawayama T, Kato S, Aizawa H. Endogenous and exogenous thioredoxin 1 prevents goblet cell hyperplasia in a chronic antigen exposure asthma model. *Allergol Int.* 2009;58:403-10.

36. Okamoto M, Azuma K, Hoshino T, Imaoka H, Ikeda J, Kinoshita T, Takamori S, Ohshima K, Edakuni N, Kato S, Iwanaga T, Aizawa H. Correlation of decreased survival and IL-18 in bone metastasis. *Intern Med*. 2009;48:763-73.
37. Toda R, Hoshino T, Kawayama T, Imaoka H, Sakazaki Y, Tsuda T, Takada S, Kinoshita M, Iwanaga T, Aizawa H. Validation of "lung age" measured by spirometry and handy electronic FEV1/FEV6 meter in pulmonary diseases. *Intern Med*. 2009;48:513-21.
38. Inoue Y, Kawayama T, Iwanaga T, Aizawa H. High plasma brain natriuretic peptide levels in stable COPD without pulmonary hypertension or cor pulmonale. *Intern Med*. 2009;48:503-12.
39. Fukuyama S, Nakano T, Matsumoto T, Oliver BG, Burgess JK, Moriwaki A, Tanaka K, Kubo M, Hoshino T, Tanaka H, McKenzie AN, Matsumoto K, Aizawa H, Nakanishi Y, Yoshimura A, Black JL, Inoue H. Pulmonary suppressor of cytokine signaling (SOCS)-1 induced by IL-13 regulates allergic asthmatic phenotype. *Am J Respir Crit Care Med*. 2009;179:992-8.
40. Hoshino T, Okamoto M, Sakazaki Y, Kato S, Young HA, Aizawa H. Role of proinflammatory cytokine IL-18 and IL-1{beta} in bleomycin-induced lung injury in humans and mice. *Am J Respir Cell Mol Biol*. 2009; 41, 6611-70.
41. Azuma K, Sasada T, Kawahara A, Hattori S, Kinoshita T, Takamori S, Ichiki M, Imamura Y, Ikeda J, Kage M, Kuwano M, Aizawa H. Expression of ERCC1 and class III beta-tubulin in non-small cell lung cancer patients treated with a combination of cisplatin/docetaxel and concurrent thoracic irradiation. *Cancer Chemother Pharmacol*. 2009 ;64:565-73.
42. Matsunaga K, Hirano T, Kawayama T, Tsuburai T, Nagase H, Aizawa H, Akiyama K, Ohta K, Ichinose M. Reference ranges for exhaled nitric oxide fraction in healthy Japanese adult population. *Allergol Int*. 2010 Aug 25;59. [Epub ahead of print].
43. Miura S, Shibata H, Kida H, Noda K, Toyama T, Iwasaki N, Iwaki A, Ayabe M, Aizawa H, Taniwaki T, Fukumaki Y. Partial SPAST and DPY30 deletions in a Japanese spastic paraplegia type 4 family. *Neurogenetics* 2010 Sep 22. [Epub ahead of print].
44. Kurata S, Ishibashi M, Azuma K, Kaida H, Takamori S, Fujimoto K, Kobayashi M, Hirose Y, Aizawa H, Hayabuchi N. Preliminary study of positron emission tomography/computed tomography and plasma osteopontin levels in patients with asbestos-related pleural disease. *Jpn J Radiol*. 2010;28:446-52.
45. Miura S, Azuma K, Yamada K, Takamori S, Kawahara A, Noda K, Ayabe M, Kage M, Aizawa H, Taniwaki T. Combined treatment with prednisolone and tacrolimus for myasthenia gravis with invasive thymoma. *Acta Neurol Belg*. 2010;110:107-9.
46. Imamura Y, Azuma K, Kurata S, Hattori S, Sasada T, Kinoshita T, Okamoto M, Kawayama T, Kaida H, Ishibashi M, Aizawa H. Prognostic value of SUVmax measurements obtained by FDG-PET in patients with non-small cell lung cancer receiving chemotherapy. *Lung Cancer*. 2010 Apr 27. [Epub ahead of print].
47. Kawahara A, Yamamoto C, Nakashima K, Azuma K, Hattori S, Kashihara M, Aizawa H, Basaki Y, Kuwano M, Kage M, Mitsudomi T, Ono M. Molecular diagnosis of activating EGFR mutations in non-small cell lung cancer using mutation-specific antibodies for immunohistochemical analysis. *Clin Cancer Res*. 2010;16:3163-70.
48. Kawahara A, Azuma K, Hattori S, Nakashima K, Basaki Y, Akiba J, Takamori S, Aizawa H, Yanagawa T, Izumi H, Kohno K, Kono S, Kage M, Kuwano M, Ono M. The close correlation between 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine and epidermal growth factor receptor activating mutation in non-small cell lung cancer. *Hum Pathol*. 2010;41:951-9.
49. Suda M, Okuda T, Ishimura M, Kurokawa S, Tokuoka S, Nakamura T, Takahashi Y, Tanaka H, Nagai H: The effects of inhaled KP-496, a novel dual antagonist for cysteinyl leukotriene receptor and thromboxane A(2) receptor, on allergic asthmatic responses in guinea pigs. *Pharmacology* 84; 249-56: 2009.
50. Inagaki N, Shiraishi N, Igeta K, Nagao M, Kim JF, Chikumoto T, Itoh T, Katoh H, Tanaka H, Nagai H: Depletion of substance P, a mechanism for inhibition of mouse scratching behavior by tacrolimus. *Eur. J. Pharmacol*. 626; 283-289: 2010.
51. Takahashi G, Tanaka H*, Wakahara K, Masu R, Hashimoto M, Miyoshi K, Takano H, Yamashita H, Inagaki N, Nagai H: Effect of diesel exhaust particles on house dust mite-induced airway eosinophilic inflammation and remodeling in mice. *J. Pharmacol. Sci*. 110; 192-202: 2010.
52. Komai M, Tanaka H*, Nagao K, Ishizaki M, Kajiwara D, Miura T, Ohashi H, Kawakami K, Sawa E, Yoshie O, Inagaki N, Nagai H: A novel CC-chemokine receptor 3 antagonist, Kil9003,

- inhibits airway eosinophilia and subepithelial/peribronchial fibrosis induced by repeated antigen challenge in mice. *J. Pharmacol. Sci.* 112; 203-213: 2010.
53. Tsuji F, Murai M, Oki K, Inoue H, Sasano M, Tanaka H, Inagaki N, Aono H: Effects of SA13353, a transient receptor potential vanilloid 1 agonist, on leukocyte infiltration in lipopolysaccharide-induced acute lung injury and ovalbumin-induced allergic airway inflammation. *J. Pharmacol. Sci.* 112; 487-490: 2010.
 54. Yamashita H, Ito T, Kato H, Asai S, Tanaka H, Nagai H, Inagaki N: Comparison of the efficacy of tacrolimus and cyclosporine A in a murine model of dinitrofluorobenzene -induced atopic dermatitis. *Eur. J. Pharmacol.* 645; 171-176: 2010.
 55. Hyakkoku K, Hamanaka J, Tsuruma K, Shimazawa M, Tanaka H, Uematsu S, Akira S, Inagaki N, Nagai H, Hara H: Toll-like receptor 4 (TLR4), but not TLR3 or TLR9, knock-out mice have neuroprotective effects against focal cerebral ischemia. *Neuroscience* 171; 258-267: 2010.
 56. Shah MM, Miyamoto Y, Yamada Y, Yamashita H, Tanaka H, Ezaki T, Nagai H, Inagaki N: Orally supplemented *Lactobacillus acidophilus* strain L-92 inhibits passive and active cutaneous anaphylaxis as well as 2,4-dinitrofluorobenzene and mite fecal antigen induced atopic dermatitis-like skin lesions in mice. *Microbiol. Immunol.* 54; 523-533: 2010.
 57. Yamashita H, Takahashi K, Tanaka H, Nagai H, Inagaki N.: Overcoming food allergy through acquired tolerance conferred by transfer of Tregs in a murine model. *Allergy* 2011 Nov 3. doi: 10.1111/j.1398-9995.2011.02742.x.
 58. Saito A, Tanaka H, Usuda H, Shibata T, Higashi S, Yamashita H, Inagaki N, Nagai H: Characterization of skin inflammation induced by repeated exposure of toluene, xylene, and formaldehyde in mice. *Environ. Toxicol.* 26; 224-232: 2011.
 59. Satou N, Ishihara K, Hiratsuka M, Tanaka H, Endo Y, Saito S, Iwakura Y, Leonard WJ, Hirasawa N.: Induction of thymic stromal lymphopoietin production by xylene and exacerbation of picryl chloride-induced allergic inflammation in mice. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 157;194-201: 2011.
 60. Tokuda R, Nagao M, Hiraguchi Y, Hosoki K, Matsuda T, Kouno K, et al. Antigen-Induced expression of CD203c on basophils predicts IgE-mediated wheat allergy. *Allergol Int* 2009; 58:193-9.
 61. Fujisawa T, Nagao M, Hiraguchi Y, Hosoki K, Tokuda R, Usui S, et al. Biomarkers for allergen immunotherapy in cedar pollinosis. *Allergol Int* 2009; 58:163-70.
 62. Fujisawa T, Nagao M, Hiraguchi Y, Katsumata H, Nishimori H, Iguchi K, et al. Serum measurement of thymus and activation-regulated chemokine/CCL17 in children with atopic dermatitis: elevated normal levels in infancy and age-specific analysis in atopic dermatitis. *Pediatr Allergy Immunol* 2009; 20:633-41.
 63. Kim, C. K., J. Choi, H. B. Kim, Z. Callaway, B. M. Shin, J. T. Kim, T. Fujisawa, and Y. Y. Koh. 2010. A randomized intervention of montelukast for post-bronchiolitis: effect on eosinophil degranulation. *J. Pediatr.* 156:749-754. (May)
 64. Choi, J., Z. Callaway, H. B. Kim, T. Fujisawa, and C. K. Kim. 2010. The role of TNF-alpha in eosinophilic inflammation associated with RSV bronchiolitis. *Pediatr Allergy Immunol.*
 65. Hosoki K, Nakamura A, Nagao M, Hiraguchi Y, Tokuda R, Wada H, Wada, H. Nobori, T. Fujisawa, T. Differential activation of eosinophils by 'probiotic' *Bifidobacterium bifidum* and 'pathogenic' *Clostridium difficile*. *Int Arch Allergy Immunol* 2010; 152:83-9.
 66. Teramoto S, Kawashima M, Komiya K, Shoji S: Health-care-associated pneumonia is primarily due to aspiration pneumonia. *Chest* 136:1702-3, 2009.
 67. Nishihara-Fujihara M, Shoji S, Maeda I, Shimoda T, Nishima S, Okamoto K: Involvement of fibronectin and matrix metalloproteinases in airway smooth cell migration for the process of airway remodeling. *Allergology International* 59: 267-275, 2010.
 68. Narumoto O, Horiguchi K, Horiguchi S, Moriwaki Y, Takano-Ohmuro H, Shoji S, Misawa H, Yamashita N, Nagase T, Kawashima K, Yamashita N: Down-regulation of secreted lymphocyte antigen-6/urokinase-type plasminogen activator receptor-related peptide-1 (SLURP-1), an endogenous allosteric alpha7 nicotinic acetylcholine receptor modulator, in murine and human asthmatic conditions.. *Biochem Biophys Res Commun.* 398:713-8, 2010.
 69. Komiya K, Ariga H, Nagai H, Teramoto S, Kurashima A, Shoji S, Nakajima Y.: Impact of

- peripheral lymphocyte count on the sensitivity of 2 IFN- γ release assays, QFT-G and ELISPOT, in patients with pulmonary tuberculosis. *Intern Med* 49:1849-55, 2010.
70. Komiya K, Teramoto S, Kawashima M, Kurosaki Y, Shoji S, Hebisawa A: A case of acute eosinophilic pneumonia following short-term passive smoking: an evidence of very high level of urinary cotinine. *Allergol Int* 59:421-3, 2010.
 71. Komiya K, Ariga H, Nagai H, Kurashima A, Shoji S, Ishii H, Nakajima Y: Reversion rates of QuantiFERON-TB Gold are related to pre-treatment IFN- γ levels. *J Infect* 63:48-53, 2011.
 72. Ohshima N, Matsui H, Matsui Y, Kawashima M, Shimada M, Higaki N, Shoji S, Wada H, Fujita A, Watanabe H, Yamaguchi N, Matsuoka R, Oki K, Takahashi H, Suzuki M, Yamazaki H, Yoshizawa M, Goto H. : Addition of Leukotriene Receptor Antagonists to Inhaled Corticosteroids Improved QOL of Patients with Bronchial Asthma Surveyed in Suburban Tokyo, Japan. *Allergol Int*. 60:473-81, 2011.
 73. Teramoto S, Kawashima M, Komiya K, Shoji S: Health-care-associated pneumonia is primarily due to aspiration pneumonia. *Chest* 136:1702-3, 2009.
 74. Pawankar R, Bunnag C, Chen Y, Fukuda T, Kim YY, Le LT, Huong le TT, O'Hehir RE, Ohta K, Vichyanond P, Wang DY, Zhong N, Khaltayev N, Bousquet J. Allergic rhinitis and its impact on asthma update (ARIA 2008)—western and Asian-Pacific perspective. *Asian Pac J Allergy Immunol* 2009;27:237-43.
 75. Ohta K, Miyamoto T, Amagasaki T, Yamamoto M: 1304 Study Group. Efficacy and safety of omalizumab in an Asian population with moderate-to-severe persistent asthma. *Respirology* 2009;14:1156-65
 76. Yamamura K, Adachi T, Masuda T, Kojima Y, Hara A, Toda T, Nagase H, Ohta K: Intracellular protein phosphorylation in eosinophils and the functional relevance in cytokine production. *Int Arch Allergy Immunol* 2009;149 Suppl:45-50.
 77. Brozek JL, Bousquet J, Baena-Cagnani CE, Bonini S, Canonica GW, Casale TB, van Wijk RG, Ohta K, Zuberbier T, Schünemann HJ. Allergic Rhinitis and its Impact on Asthma (ARIA) guidelines: 2010 revision. *J Allergy Clin Immunol* 2010;126:466-76.
 78. Matsunaga K, Hirano T, Kawayama T, Tsuburai T, Nagase H, Aizawa H, Akiyama K, Ohta K, Ichinose M. Reference ranges for exhaled nitric oxide fraction in healthy Japanese adult population. *Allergol Int* 2010;59:363-7.
 79. Ohta S, Oda N, Yokoe T, Tanaka A, Yamamoto Y, Watanabe Y, Minoguchi K, Ohnishi T, Hirose T, Nagase H, Ohta K, Adachi M. Effect of tiotropium bromide on airway inflammation and remodelling in a mouse model of asthma. *Clin Exp Allergy* 2010;40:1266-75.
 80. Suzukawa M, Yamaguchi M, Iikura M, Koketsu R, Komiya A, Nagase H, Nakae S, Matsumoto K, Saito H, Matsushima K, Yamamoto K, Ohta K. IL-33-induced activation of human basophils and eosinophils via ST2. *Inflammation and Regeneration* 2010;30:181-5.
 81. Toda T, Yamaguchi M, Nakase Y, Sugimoto N, Suzukawa M, Nagase H, Ohta K. A case of anaphylactic reaction following Matsutake mushroom ingestion: Demonstration of histamine release reaction of basophils. *Allergol Int* 59:417-9, 2010.
 82. Bousquet J, Schünemann HJ, Zuberbier T, Bachert C, Baena-Cagnani CE, Bousquet PJ, Brozek J, Canonica GW, Casale TB, Demoly P, Gerth van Wijk R, Ohta K, Bateman ED, et al. Development and implementation of guidelines in allergic rhinitis – an ARIA-GA2LEN paper. *Allergy* 2010;65:1212-21.
 83. Ohta K, Bousquet PJ, Aizawa H, Akiyama K, Adachi M, Ichinose M, Ebisawa M, Tamura G, Nagai A, Nishima S, Fukuda T, Morikawa A, Okamoto Y, Kohno Y, Saito H, Takenaka H, Grouse L, Bousquet J. Prevalence and impact of rhinitis in asthma. SACRA, a cross-sectional nation-wide study in Japan. *Allergy* 2011;66:1287-95
 84. Suzukawa M, Nagase H, Ogahara I, Han K, Tashimo H, Shibui A, Koketsu R, Nakae S, Yamaguchi M, Ohta K. Leptin enhances survival and induces migration, degranulation and cytokine synthesis of human basophils. *J Immunol* 2011;186:5254-60.
 85. Han K, Suzukawa M, Yamaguchi M, Sugimoto N, Nakase Y, Toda T, Nagase H, Ohta K. The in vitro effects of advanced glycation end products on basophil functions. *Int Arch Allergy Immunol* 2011;155(suppl 1):64-70.
 86. Ohta K, Yamaguchi M, Akiyama K, Adachi M, Ichinose M, Takahashi K, Nishimuta T, Morikawa A, Nishima S. Japanese guideline for adult asthma. *Allergol Int* 2011;60:115-45.
 87. Fukutomi Y, Taniguchi M, Watanabe J, Nakamura H, Komase Y, Ohta K, Akasawa A, Nakagawa T,

- Miyamoto T, Akiyama K. Time trend in the prevalence of adult asthma in Japan: Findings from population-based surveys in Fujiwara City in 1985, 1999, and 2006. *Allergol Int* 2011;60:443-8.
88. Kimura T, Yokoyama A, Kohno N, Nakamura H, Eboshida A. Perceived stress, severity of asthma, and quality of life in young adults with asthma. *Allergol Int* 58(1): 71-79, 2009.
 89. Tanaka T, Hitomi Y, Kambayashi Y, Hibino Y, Fukutomi Y, Shibata S, Sugimoto S, Hatta K, Eboshida A, Konoshita T, Nakamura H: The differences in the involvements of loci of promoter region and Ile50Val in interleukin-4 receptor α chain gene between atopic dermatitis and Japanese cedar pollinosis. *Allergol Int*. 2011(in press)
 90. Tomotsune Y, Sasahara S, Umeda T, Hayashi M, Usami K, Yoshino S, Kageyama T, Nakamura H, Matsuzaki I: The association of sense of coherence and coping profile with stress among research park city workers in Japan. *Ind Health*. 47(6):664-672(2009)
 91. Hayashi M, Sasahara S, Nakamura H, Umeda T, Usami K, Tomotsune Y, Yoshino S, Matsuzaki I: Association between life stress factor and mental health status of workers in Tsukuba Research Park City. *J Phys Fit Nutri Immunol*. 19(3):212-221(2009)
 92. Sagara T, Hitomi Y, Kambayashi Y, Hibino Y, Matsuzaki I, Sasahara S, Ogino K, Hatta K, Nakamura H: Common risk factors for changes in body weight and psychological well-being in Japanese male middle-aged workers. *Environ Health Prev Med*. 14:319-327(2009)
 93. Sekizuka N, Sakai A, Shimada K, Tabuchi N, Kameda Y, Nakamura H: Low serum secretory immunoglobulin A level and sense of coherence score at an early gestational stage as indicators for subsequent threatened premature birth. *Environ Health Prev Med*. 14(5):276-83(2009)
 94. Hibino Y, Takaki J, Kambayashi Y, Hitomi Y, Sakai A, Sekizuka N, Ogino K, Nakamura H: Relationship between the Noto-Peninsula earthquake and maternal postnatal depression and child-rearing. *Environ Health Prev Med*. 14(5):255-260(2009)
 95. Hatta K, Sato K, Hamakawa H, Takebayashi H, Kimura N, Ochi S, Sudo Y, Asukai N, Nakamura H, Usui C, Kawabata T, Hirata T, Sawa Y: Effectiveness of second-generation antipsychotics with acute-phase schizophrenia. *Schizophr Res*. 113:49-55 (2009)
 96. Hatta K, Nakamura H, Usui C, Kobayashi T, Kamiyo Y, Hirata T, Awata S, Kishi Y, Arai H, Kurosawa H: Medical and psychiatric comorbidity in psychiatric beds in general hospitals: a cross-sectional study in Tokyo. *Psychiatry Clin Neurosci*. 63(3):329-335 (2009)
 97. Kimura T, Yokoyama A, Kohno N, Nakamura H, Eboshida A: Perceived stress, severity of asthma, and quality of life in young adults with asthma. *Allergol Int*. 58(1):71-79(2009)
 98. Hibino Y, Takaki J, Kambayashi Y, Hitomi Y, Sakai A, Sekizuka N, Ogino K, Nakamura H: Health impact of disaster-related stress on pregnant women living in the affected area of the Noto Peninsula earthquake in Japan. *Psychiatry Clin Neurosci*. 63(1):107-115 (2009)
 99. Ooi A, Suzuki S, Nakazawa K, Itakura J, Imoto I, Nakamura H, Dobashi Y: Gene amplification of Myc and its coamplification with ERBB2 and EGFR in gallbladder adenocarcinoma. *Anticancer Res*. 29(1):19-26(2009)
 100. Kambayashi Y, Ogino K, Takemoto K, Imagama T, Takigawa T, Kimura S, Hibino Y, Hitomi Y, Nakamura H: Preparation and Characterization of a Polyclonal Antibody against Brominated Protein. *J Clin Biochem Nutr*. 44(1):95-103 (2009/01)
 101. Kambayashi Y, Binh NT, W Asakura H, Hibino Y, Hitomi Y, Nakamura H, Ogino K: Efficient assay for total antioxidant capacity in human plasma using a 96-well microplate. *J Clin Biochem Nutr*. 44(1):46-51(2009)
 102. Hibino Y, Hitomi Y, Kambayashi Y, Nakamura H: Exploring factors associated with the incidence of sexual harassment of hospital nurses by patients. *Journal of Nursing Scholarship*. 41(2):124-131(2009)
 103. Sauriasari R, Sakano N, Wang DH, Takaki J, Takemoto K, Wang B, Sugiyama H, Sato Y, Takigawa T, Takahashi N, Kanbara S, Hitomi Y, Nakamura H, Ogino K: C-reactive protein is associated with cigarette smoking-induced hyperfiltration and proteinuria in an apparently healthy population. *Hypertens Res*. 33:1129-1136(2010)
 104. Umeda T, Sasahara S, Tomotsune Y, Yoshino S, Usami K, Haoka T, Ohi Y, Nakamura H, Matsuzaki I: Relationship Between Sense of Coherence and Depression among Workers: A Large-scale Epidemiologic Survey in Tsukuba Science City. *J Phys Fit Nutri Immunol*. 20(1):3-10(2010)

105. Konoshita T, Makino Y, Kimura T, Fujii M, Wakahara S, Arakawa K, Inoki I, Nakamura H, Miyamori I, Genomic Disease Outcome Consortium Study Investigators: A new-generation N/L-type calcium channel blocker leads to less activation of the renin-angiotensin system compared with conventional L type calcium channel blocker. *J Hypertens.* 28(10):2156-2160(2010)
106. Sekizuka N, Sakai A, Aoyama K, Kohama T, Nakahama Y, Fujita S, Hibino Y, Hitomi Y, Kambayashi Y, Nakamura H: Association between the incidence of premature rupture of membranes in pregnant women and seismic intensity of the Noto Peninsula earthquake. *Environ Health Prev Med.* 15(5):292-298(2010)
107. Higuchi M, Hatta K, Honma T, Hitomi YH, Kambayashi Y, Hibino Y, Matsuzaki I, Sasahara S, Nakamura H: Association between altered systemic inflammatory interleukin-1beta and natural killer cell activity and subsequently agitation in patients with alzheimer disease. *Int J Geriatr Psychiatry.* 25(6):604-611(2010)
108. Hatta K, Nakamura M, Yoshida K, Hamakawa H, Wakejima T, Nishimura T, Furuta K, Kawabata T, Hirata T, Usui C, Nakamura H, Sawa Y: A prospective naturalistic multicentre study of intravenous medications in behavioural emergencies: haloperidol versus flunitrazepam. *Psychiatry Res.* 178(1):182-185(2010)
109. Usui C, Hatta K, Doi N, Nakanishi A, Nakamura H, Nishioka K, Arai H: Brain perfusion in fibromyalgia patients and its differences between responders and poor responders to gabapentin. *Arthritis Res Ther.* 12(2):R64(2010)
110. Hirota R, Roger NN, Nakamura H, Song HS, Sawamura M, Suganuma N: Anti-inflammatory effects of limonene from yuzu (Citrus junos Tanaka) essential oil on eosinophils. *J Food Sci.* 75(3):H87-92(2010)
111. Hatta K, Usui C, Nakamura H, Kurosawa H, Arai H: Open wards versus locked wards of general hospitals in the treatment of psychiatric patients with medical comorbidities: a cross-sectional study in Tokyo. *Psychiatry Clin Neurosci.* 64(1):52-6(2010)
112. Konoshita T, Makino Y, Kimura T, Fujii M, Morikawa N, Wakahara S, Arakawa K, Inoki I, Nakamura H, Miyamori I; The Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study Investigators.: A crossover comparison of urinary albumin excretion as a new surrogatemarker for cardiovascular disease among 4 types of calcium channel blockers. *Int J Cardiol.* 2011 (in press)
113. Usui C, Hatta K, Aratani S, Yagishita N, Nishioka K, Kanazawa T, Ito K, Yamano Y, Nakamura H, Nakajima T, Nishioka K.: The Japanese version of the 2010 American College of Rheumatology Preliminary Diagnostic Criteria for Fibromyalgia and the Fibromyalgia Symptom Scale: reliability and validity. *Mod Rheumatol.* (in press)
114. Usui C, Hatta K, Doi N, Kubo S, Kamigaichi R, Nakanishi A, Nakamura H, Hattori N, Arai H: Improvements in both psychosis and motor signs in Parkinson's disease, and changes in regional cerebral blood flow after electroconvulsive therapy. *Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry.* 35(7):1704-1708. (2011)
115. Sugimoto N, Miwa S, Ohno-Shosaku T, Tsuchiya H, Hitomi Y, Nakamura H, Tomita K, Yachie A, Koizumi S: Activation of tumor suppressor protein PTEN and induction of apoptosis are involved in cAMP-mediated inhibition of cell number in B92 glial cells. *Neurosci Lett.* 497(1):55-59. (2011)
116. Hibino Y, Takaki J, Ogino K, Kambayashi Y, Hitomi Y, Shibata A, Nakamura H: The relationship between social capital and self-rated health in a Japanese population: a multilevel analysis. *Environ Health Prev Med.* (2011)
117. Hatta K, Otachi T, Sudo Y, Hayakawa T, Ashizawa Y, Takebayashi H, Hayashi N, Hamakawa H, Ito S, Nakase R, Usui C, Nakamura H, Hirata T, Sawa Y, for the JAST study group.: Difference in early prediction of antipsychotic non-response between risperidone and olanzapine in the treatment of acute-phase schizophrenia. *Schizophr Res.* 128:127-135(2011)
118. Fukutomi Y, Itagaki Y, Taniguchi M, Saito A, Yasueda H, Nakazawa T, Hasegawa M, Nakamura H, Akiyama K: Rhinoconjunctival sensitization to hydrolyzed wheat protein in facial soap can induce wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis. *J Allergy Clin Immunol.* 127(2):531-533(2011)

学会発表

1. Mori, A., Kitamura, N., Otomo, M., Akiyama, K. and Kaminuma, O. 2009. T cell response to *Candida albicans* acid protease is associated

- with the isolated late asthmatic response. The 17th Congress of The International Society for Human and Animal Mycology. Symposium CL-01 Allergic fungal infections. Abstract book p. 209. (Tokyo) 2009/5/25-29
2. Mori A, Otomo T, Kitamura N, Kaminuma O. 2009. Cloned Th cells confer airway obstruction upon antigen challenge in the absence of IgE antibody - a model for nonatopic bronchoconstriction. European Respiratory Society 2009. Final program p.375 (Vienna) 2009/09/12-16
 3. Mori A, Kitamura N, Otomo T, Kaminuma O. 2009. Detection of T cell-dependent bronchoconstriction using human cultured bronchial smooth muscle cells. XXI World Allergy Congress. Final program p.124 (Buenos Aires) 2009/12/6-10
 4. Kaminuma O, Yang L, Takagi S, Ichikawa S, Hirose S, Mori A, Umez-Goto M, Ohtomo T, Ohmachi Y, Noda Y, Okumura K, Ogawa H, Kitamura F, Hiroi T. 2010. Successful recovery from allergic airway inflammation by oral immunotherapy with allergen-expressing transgenic rice seed. American Academy of Allergy, Asthma, and Immunology Annual meeting. (New Orleans) 2010/2/26-3/2
 5. Kaminuma, O., Kitamura, N., Mori, A., nemoto, S., Tatsumi, H., Miyoshi, H., Miyatake, S., Kitamura, F., Yamaoka, K., and Hiroi, T. Human Th2 cells produce IFN-gamma due to hyper-expression of T-bet. 2010 American Academy of Allergy, Asthma, and Immunology Annual Meeting. *J. Allergy Clin. Immunol.* 125(2) Suppl. 1:AB144 (New Orleans) 2010/2/26-3/2
 6. Mori A, Kitamura N, Otomo T, Abe, A., and Kaminuma O. Analysis of T cell-dependent bronchoconstriction using human cultured bronchial smooth muscle cells. Collegium International Allergologicum 27th Symposium. Final program p.67 (Ischia) 2010/4/25-30
 7. Mori A, Kitamura N, Otomo T, Abe, A., and Kaminuma O. T cell-dependent bronchoconstriction *in vivo* and *in vitro*. European Association of Allergy and Clinical Immunology 2010. Allergy 65 (Suppl. 92):69 (London) 2010/6/5-9
 8. Mori A, Kitamura N, Otomo T, Abe, A., and Kaminuma O. Role of T cells in late phase asthmatic response. The 8th Asia Pacific Congress of Allergy, Asthma, and Clinical Immunology 2010. Final program p. (Singapore) 2010/11/6-9
 9. Mitsui C., Taniguchi M., Higashi N., Ono E., Kajiwarra K., Hukutomi Y., Tsuburai T., Sekiya K., Tanimoto H., Ishii T., Mori A., Mita H., Hasegawa M. and Akiyama K. Cysteinyl-Leukotriens overproduction and the asthma severity in patients with aspirin-induced asthma. World Allergy Organization International Scientific Conference. Final program p.100 (Dubai) 2010/12/5-8
 10. Mori, A., Abe, A., Koyama, S., Kitamura, N., Yamaguchi, M., Tanimoto, H., Sekiya, K., Oshikata, C., Mitsui, C., Taniguchi, M., Ohtomo, M., Maeda, Y., Hasegawa, M., Akiyama, K., Ohtomo, T., and Kaminuma, O. 2011. Comparative Analysis of Steroid Sensitivity of Th cells *in vitro* and *in vivo*. 30th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology, Programme p.172 (Istanbul) 2011/6/11-15
 11. Mitsui, C., Taniguchi, M., Fukutomi, Y., Higashi, N., Ono, E., Kajiwarra, K., Tanimoto, H., Oshikawa, C., Sekiya, K., Tsuburai, T., Tsurikisawa, N., Ishii, T., Mori, A., Mita, H., Hasegawa, M., and Akiyama, K. 2011. Risk factors and characteristics associated with uncontrolled severe asthma in patients with aspirin-exacerbated respiratory disease. 30th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology, Programme p.146 (Istanbul)2011/6/13
 12. Mori, A., Abe, A., Koyama, S., Kitamura, N., Yamaguchi, M., Mitsui, C., Oshikata, C., Tanimoto, H., Fukutomi, Y., Sekiya, K., Taniguchi, M., Maeda, Y., Ohtomo, M., Hasegawa, M., Akiyama, K., Ohtomo, T., and Kaminuma, O. 2011. T cell clone transfer model for steroid resistant asthma. European Respiratory Society 2011. (Amsterdam) 2011/9/18-22
 13. Tanimoto Y, Ogata Y, Kuyama S, Takao K, Kishi T, Nojima D, Waseda K, Fuchimoto Y, Takigawa N, Tanimoto M. Clinical study of bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) syndrome primed by radiation therapy for breast cancer. 14th Congress of the APSR, Seoul, 2009.
 14. K. Matsunaga, T. Kawayama, R. Toda, Y. Imamura, T. Hoshino, H. Aizawa. Effects of fluticasone and ciclesonide on pulmonary function and airway inflammation in stable mild asthmatics. European Respiratory Society Annual Congress 2009, Vienna, Austria, September 12-16, 2009.
 15. M. Sawada, R. Toda, Y. Sakazaki, T. Kawayama, T. Hoshino, H. Aizawa. Detection and

- evaluation severity of COPD by ipaq questionnaires: evaluation of ipaq questionnaires in COPD in Japan. European Respiratory Society Annual Congress 2009, Vienna, Austria, September 12-16, 2009
16. T. Hoshino, M. Okamoto, Y. Sakazaki, M. Sawada, H. Imaoka, T. Kinoshita, R. Toda, T. Kawayama, H. Aizawa. Role of proinflammatory cytokines IL-18 and IL-1 β in bleomycin-induced lung injury in humans and mice. European Respiratory Society Annual Congress 2009, Vienna, Austria, September 12-16, 2009
 17. Y. Sakazaki, T. Hoshino, M. Sawada, T. Kawayama, Y. Kitasato, S. Takata, M. Yoshida, S. Kato, H. Aizawa. Characteristics of fatal asthma: CD8 positive T cells producing IFN- γ and IL-18 were recruited into small airways in fatal asthma. European Respiratory Society Annual Congress 2009, Vienna, Austria, September 12-16, 2009
 18. Y. Sakazaki, T. Hoshino, T. Kawayama, H. Imaoka, T. Kinoshita, M. Sawada, H. Oda, Y. Kitasato, T. Iwanaga, H. Aizawa. Severe airway remodeling and increased CD8+T cells and eosinophils in airways of asthma death. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 16, 2010.
 19. T. Kinoshita, T. Hoshino, Y. Sakazaki, M. Sawada, H. Oda, T. Kawayama, H. Aizawa. Elastase-induced emphysematous change and pulmonary inflammation are attenuated in caspase-1 deficient mice. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 14-19, 2010.
 20. M. Sawada, T. Hoshino, Y. Sakazaki, H. Oda, T. Kawayama, H. Aizawa. Overproduction of IL-18 in the lungs, and results in airway hyperresponsiveness and pulmonary inflammation. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 14-19, 2010.
 21. T. Sekizuka, T. Kawayama, H. Ishii, K. Ito, K. Matsunaga, T. Hoshino, H. Aizawa. Impairment of glucose tolerance in subjects with COPD in Japan. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 19, 2010.
 22. K. Matsunaga, R. Toda, T. Kawayama, M. Tajiri, T. Hoshino, H. Aizawa. High prevalence of gastroesophageal reflux in patients with asthma. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 19, 2010.
 23. T. Kawayama, K. Matsunaga, R. Toda, T. Hoshino, H. Aizawa. Heterogeneity of plasma brain natriuretic peptide levels and systemic inflammation in COPD with normal cardiac function. American Thoracic Society international conference 2010, New Orleans, USA, May 19, 2010.
 24. H. Aizawa. Various Effects of Nitric Oxide (NO) on Airway Functions. 国際 NO 学会学術集会, Kyoto, Japan, June 14-18, 2010.
 25. K. Matsunaga, T. Kawayama, K. Yamaguchi, T. Hoshino, H. Aizawa. Different profiles of lung and systemic regulatory T cells in mild asthmatics. European Respiratory Society annual congress, Barcelona, Spain, September 18, 2010.
 26. Y. Sakazaki, T. Hoshino, T. Kawayama, H. Imaoka, T. Kinoshita, M. Sawada, H. Oda, S. Takenaka, Y. Kitasato, T. Iwanaga, H. Aizawa. Enhanced expression of IL-18 and increased CD8+ T cells and eosinophils in the airways of asthma death. European Respiratory Society annual congress, Barcelona, Spain, September 18, 2010.
 27. H. Oda, T. Hoshino, S. Takenaka, M. Sawada, Y. Sakazaki, T. Kinoshita, H. Aizawa. Emphysematous change, weight loss, atrophy of the gastrocnemius and cor pulmonale in aging IL-18 transgenic mice: roles of IL-13 in mouse COPD model. European Respiratory Society annual congress, Barcelona, Spain, September 18, 2010.
 28. Masanori Sawada, Tomoaki Hoshino, Yuki Sakazaki, H. Oda, S. Takenaka, T. Kawayama, H. Aizawa. Overproduction of IL-18 induces IL-13 producing CD4+ T cells in the lungs, and results in airway hyperresponsiveness and pulmonary inflammation in Balb/c mice. European Respiratory Society annual congress, Barcelona, Spain, September 18, 2010.
 29. Hiraguchi Y, Nagao M, Tokuda R, Hosoki K, Fujisawa T. Neutrophil Proteases Activate Eosinophil Function In Vitro. American Academy of Allergy, Asthma and Immunology, 2008. 3. 14-20, Philadelphia, USA
 30. Fujisawa T. Non-invasive measurement of airway inflammation in asthma: Is it possible to visualize 'invisible' airways?, Special Lecture at 2008 Annual meeting of the Korean Academy of Asthma, Allergy and Clinical Immunology, Seoul, 2008. 5. 9.
 31. Fujisawa T. What is new in Eosinophil World: The Eos strikes back! Meet the Professor session at 2008 Annual meeting of the Korean Academy of Asthma, Allergy and Clinical

- Immunology, Seoul, 2008. 5. 9.
32. Suzukawa M, Iikura M, Yamaguchi M, Koketsu M, Komiya A, Nagase H, Nakae S, Matsumoto K, Saito H, Matsushima K, Yamamoto K, Ohta K. IL-33 induces human basophil and eosinophil activation via ST2. The 9th World Congress on Inflammation. 2009年7月.
 33. Koketsu R, Suzukawa M, Kawakami A, Komiya A, Iikura M, Nagase H, Matsumoto K, Saito H, Ra C, Hirai K, Yamamoto K, Ohta K, Yamaguchi M. Priming of human basophils by low levels of anti-FcεRI α-chain mAb. 14th International Congress of Immunology. 2010年8月.
 34. Nagase H, Toda T, Kamiyama A, Nakase Y, Sugimoto N, Yoshihara H, Kuramochi M, Tashimo H, Arai H, Yamaguchi M, Suzuki N, Ohta K. Usefulness of measuring the level of fractional exhaled nitric oxide (FeNO) in various respiratory diseases. American Academy of Allergy, Asthma, and Immunology (AAAAI) annual meeting. 2011年3月.
 35. Suzukawa M, Yamaguchi M, Han K, Toda T, Nagase H, Ohta K. The role of advanced glycation endproducts (AGEs) on basophil functions. American Academy of Allergy, Asthma, and Immunology (AAAAI) annual meeting. 2011年3月.
 36. Kashima S, Yorifuji T, Tsuda T, Eboshida A. Application of spatio-temporal regression model accounting for Asian dust (desert dust) to regulatory air quality data in Japan. 23rd Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology. Barcelona, Spain, Sep. 13 - 16, 2011. Environ Health Perspect. Abstracts of the 23rd Annual Conference of the International Society of Environmental Epidemiology (ISEE). (査読有)
 37. Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Eboshida A, Yamaoka K. Validity of Computer-Assisted Health Assessment of Elderly Adults Using Visual Analogue Scales and Face Scales. 27th International Congress of Applied Psychology (ICAP), Sep/2010 (Melbourne)
- H. 知的所有権の取得状況
1. 特許取得
 1. 中村裕之 他、「アレルギー発症予防用フィルター」(公開年月: 2009/09)(特許番号: 特開2009-214016)
 2. 実用新案登録
なし
 3. その他
なし